第三千九百二十一號（一）　THE KEIJO NIPPO　大正七年八月二十二日（年中無休刊）（明治三十九年九月十八日第三種郵便物認可）

京城日報

本紙定價　壹ヶ月七拾五錢▲參ヶ月貳圓貳拾五錢▲六ヶ月四圓五拾錢▲壹ヶ年九圓郵税共
廣告料金　五號活字一行（廿五字詰）一圓五拾錢　特別▲同二圓（七字詰）▲四號（十七字詰）
發行編輯兼印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　京城　編輯局　營業局

◇滿洲里附近戰雲

八月二十一日夕刊（朝夕併せて八頁）

セ軍活動＝我戰鬪部隊長驅赴援　敵は歩騎兵約八千＝セ軍の策應

陸軍省公表＝獨墺俘虜軍の壓迫を受け悲憤切齒してツアガン（滿洲里東方約四里）附近に退却し時の到るを待ちつゝありしセミヨノフ枝隊は藤井中將の指揮する枝隊の北滿移動に伴ひ勢威加はり十九日ツアガン附近より行動を開始し二十一日滿洲里附近を占領我枝隊と策應すべし我戰鬪部隊は十九日ハイラルに到著し長驅直に之が赴援をなさんとせり滿洲里の西方マツエフスカヤ及び其の附近の敵勢は獨墺俘虜赤衛軍を加へ歩兵約七千騎兵七百を算すと（廿日午後七時東京發電延着＝號外再錄）

◇聯合國公使會議

米公使滿洲里出兵具申

北京駐在聯合國公使團は日本の滿洲里出兵に關し協議會を開會せるが其結果米國公使は聯合國の浦鹽共同出兵範圍を擴張し滿洲里に及ぼさん事を本國政府に具申せり（北京電報）

◇獨、兩都占領

露國中立以來獨軍は過激派の承認を經てヴイテブスク、スモーレンスクの兩大都市を占領せり（合同哈爾賓電報＝號外再錄）

◇武裝農民進軍

武裝せる農民は饑餓を叫びつゝペトログラードに向つて進軍中なりと（倫敦電報）

◇出兵費と鹽稅準備金

支那政府は出兵費用として增稅準備金を充つべく去る十日非公式に銀行團に對し五百萬弗の流用の承諾を求めたるが拒絶されたる爲め更に十七日銀行團關係公使に鹽稅準備金全額一千萬弗の流用を申込み來れり諾否不明なるも銀行團は公使館の決議に從ふべしと（北京特電）

◇王議長當選か

二十日衆議院議長選擧に於て王揖唐氏三分の二以上にて當選の見込なり（北京特電）

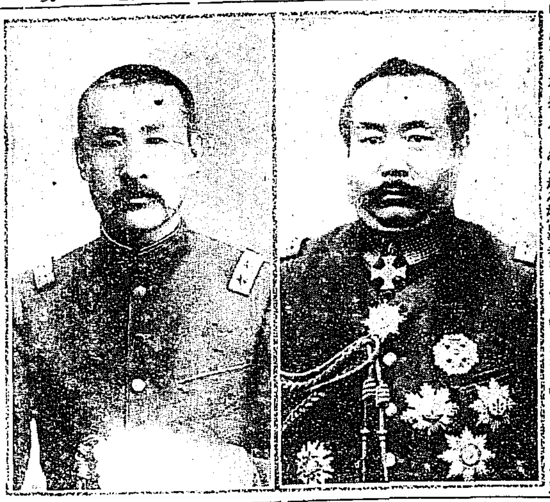
◇佛軍獨戰線襲擊

佛軍は突如カーレホツク及びフオンテノイ間の獨戰線を襲擊し一哩以上の前進をなしナンプセル高地を占領し一千七百名の捕虜を得たり（合同通信香港電報）

◇西伯利亞經濟援助主旨

英米二國も實施せん

外務當局曰く露領西伯利亞方面に於ける露人の窮狀同情に堪へず經濟上援助の急務なるは我政府及び聯合國之を認むるも如何せん騷擾狀態止まざる限り容易に手を下す能はざりしが帝國及び與國軍隊浦鹽方面派遣の結果秩序恢復の曙光を認めたるを以て經濟援助手段漸く行はるゝに至り差當り西伯利方面に最も缺乏せる物資を供給せんとするも是等各種の事務は外務省の常務として扱ふは煩雜の嫌ひあるを以て實業界方面の協贊を俟ち目的を達せんとす依つて政府は右施設調查審議の爲め廣く官民より委員を簡拔して委員會を組織し一方外務省に於ても臨時職員を增置す可し英、米二國も同一施設の模樣あれば聯絡を執る事となるべし尙時節柄附加し度きは食糧品を供給する場合と雖も本邦の現狀に照し融通し得べき物に限り其の方法を執るは勿論なり（東京特電）



★支那國防と兩將軍　蒙古及び黑龍江に對する支那の國防計畫は其後着々進歩しつゝあるが之が當事者たる張家口都統田中玉氏と黑龍江督軍鮑貴卿上將は共に入京して北兵防備に關する重要議案を國務會議に提出し實行を迫りつゝあるが近く實現を見るに至るべし。寫眞は右田中玉氏左鮑貴卿氏（北京）

◇研究會總會

研究會にては二十日臨時總會を開き青木氏より西伯利出兵、外交經過、米價調節、騷動事件の報告ありて散會せり（東京特電）

◇駐露伊總領事

目下伊太利大使館書記官ガスコ氏は浦鹽駐在伊國總領事に任命され近々赴任すべしと（東京特電）

◇銀塊價格公定

廿日入電に據れば米國政府は銀塊價格を一弗一仙半に公定せり（大阪特電）

◇釜山米移出

下關市の依賴

釜山穀物市場にては下關市役所及び同地商業會議所の依賴にて米五千叺を二十一日の出來値にて買却輸送するに決定せり（釜山特電）

◎醫專官制改正

京城醫學專門學校卒業生は從來內地に於ては開業の資格を與へられず不便尠からざりしが今回勅令を以て同校の官制を改正し同校內に新に內地人生徒の爲め特別醫學科を設け特別醫學科の卒業生は內地に於て開業の資格を認めらるゝ事となれるが特別醫學科の課程は四年終了とし改正令施行の際現に京城醫學專門學校に入學し居る者にして之が分に依る入學資格を有する者は之を特別醫學科の當該學年に編入せらる可し

◇某國司令官暗殺計畫說

平安丸浦鹽歸着者の談に過激派は某國司令官及び某軍の司令官を暗殺の計畫ありとの說傳へられ浦鹽市中嚴重警戒中なり（浦鹽特電）

◇內相總裁伺候

天皇、皇后兩陛下には二十一日日光より還幸啓あらせらるゝに付水野內相、中村鐵道院總裁は二十日御用邸に伺候二十一日供奉歸京の筈なり（東京特電）

◇辭令

二十日左の通り辭令ありたり（東京特電）

海軍少將　森山慶三郎
第一戰隊司令官
補第二戰隊司令官

◎鮮銀總裁演說（一）

―於株主總會―

二十日東京銀行集會所に於ける朝鮮銀行株主總會席上にて美濃部總裁の演述せし大正七年上半期の營業概況左の如し

▲一般經濟狀況

▼朝鮮　當季間に於ける朝鮮の經濟界は前年來好況の後を承けて依然順調なる經過を示し農産物の輸移出貿易輸入品の取引其他一般事業界の景況概して隆盛を持續せり今少しく之を詳說せんか農産物に於ては其大宗たる米穀の市價は內地に於ける物價調節令、外米管理令等の影響を受け一時多少の浮沈なきにあらざりしも大勢上差したる打擊こてもなく未曾有の高値を持續したりしに拘らず內地筋の註文輻輳し又滿洲及山東方面への輸移出多かりしかば當季間の米穀輸移出高は貳千貳百參拾餘萬圓に上り、前年同季に比し六割六分の激增を示したり又多年其筋の獎勵に係る棉作は作付面積の擴張に依る收穫の增加と昨年度に於ける豐作とに依り其出廻多額なりしのみならず其市價亦前年に比し三四割方の高値なりしを以て其取引活況を呈し殆ど前年同季間の出高の如きも半季間に於て五百五十萬圓に達し其他大豆、煙草、人蔘、繭、生牛等主要農産物の輸移出額一割乃至二三倍の增加を見たり次に輸移入品にありては農家の收入增加し購買力の增進すると共に各輸移入品特に綿布、砂糖等日用品の賣行良好なりしは其輸移入高の前年同季に比し各六割を增加せるに徵し之を證するを得べし如斯農産物の輸移出額及日用品の輸移入額の激增は其他諸商品の貿易額に影響して當季の朝鮮貿易額に異常の進境を示すに至れり即ち當季の輸移出額は五千七百九十二萬六千餘圓にして前年同季に比し二千百六十七萬八千餘圓を增加し輸移入額は六千七百七十三［illegible］四千餘萬圓にして前年同季に比し一千四百四十萬圓を增加し［illegible］若夫れ事業界の狀況に至りては未曾有の好況を呈し新設會社［illegible］擴張［illegible］運輸交通の［illegible］其他各種土木建築の諸工事の各地に著手せられたるものあり更に海運につきては朝鮮郵船株式會社の日本海循環航路開始せられて滿洲及朝鮮の元山移出を見たり而して當季間の農業方面に於ては降雨適順にして水稻の移植も無事終了を告げ麥作の收穫亦增收を豫想せらるゝ等各般の經濟事情極めて順調に經過したり唯本季間に於ても尙船腹及鐵道貨車配給の不足に基く滯貨［illegible］又米國に於ける［illegible］諸品の禁輸浦鹽港に於ける［illegible］輸入禁止等多少貿易の大勢を動かすに足らず、轉じて朝鮮內各銀行の預金に比すると［illegible］金七千八百九十萬圓を示し之を前年六月末に比すれば預金に於て三割九分を增加し貸出金に於て五割弱を增加せり又鮮內四手形交換所の本季手形交換高は一億六千八百三十萬圓にして前年同季間の交換高八千三百七十萬圓に比すれば正に倍加したるを見るべし是れ朝鮮一般經濟界隆盛の反映たること勿論也

▼滿洲　當季の滿洲財界は前季に引續き軍事、外交並經濟上に關聯せる各般の事故頻出し或は一般的に或は地方的に其影響を蒙むること鮮からざりしが幸にして大勢は依然時局以來の好勢を持續し頗る順調の發達を示せり今其大體を略述せんに一月には帝國陸軍の出動說あり亞で露國銀行國有令及同國國債廢棄令に續て浦鹽斯德港に於ける禁輸令の發表あり二月には米國貿易制限、露獨單獨媾和、奉天興業銀行並東三省官銀號の兌換［illegible］四分利債券及滙兌票の發行、奉天軍の南征等あり三月には關東州の米麥禁出令［illegible］鮮滿連絡貨物の受付中止あり更に四、五兩月に亘りて日支間の共同動作に關する軍事協約の發表、露國及洋錢票の暴落、奉天支那銀行の兌換停止等の外旬日を超ゆる霖雨の爲交通の淤滯を來せるあり六月には大連埠頭に於ける野積大豆の火災續發し之に對する保險解除の問題を生じ其他頻發銀行の營業停止せらるゝ等人心を動搖せしめたる幾多の重大事件發生し加ふるに此間浦鹽方面よりの西伯利亞出兵問題に於ける動靜は北滿一帶の經濟界に動搖を與へ且又支那政府の國境防備と共に稅關閉鎖の擧に出づるあり其他貨車配給の不圓滑に因る滯貨の依然たるありて特に物資輸入品の取引困難を呈し從て貿易の過渡的金融の梗塞を誘起したる觀ありしも其影響比較的大ならず即ち輸出方面に於ては大豆及豆粕の內地向輸送高著しく增加し外豆油の米國仕向著しく旺盛なりし外輸入方面に於ては日本品の其需要に不足するの狀態にありし爲に運輸梗塞の折柄なりしも全季を通じ輸出盛況を示せり又輸入方面に於ては昨年來の穀價高に因る地方農民の購買力增進に加ふるに終始割高なりし結果綿絲布其他各種輸入品の賣行頗る活況を呈し且又滿蒙に於ける企業は引續き殷賑を致し殊に鞍山站製鐵所工事の進捗、撫順其他各地の發展等に依り市況概して好調を現はし各種資金の移動自ら繁忙にして從て金融市場は緊縮狀態を革むるの機なくして本季を經過するに至れり

◎鮮銀哈市策動

井內局長北行

滿洲哈爾賓方面に於ける時局の進展に伴ひ朝鮮銀行にては哈爾賓方面に於ける金融調查の爲め井內勇氏を特派する事となりしが同氏は二十二日午後九時四十分京城發列車にて北行の事に決定したり右に付井內氏を訪へば氏は曰く哈爾賓出張の命を受けしが何の準備をも整へず赴きて何を調查し何の方面に向ふかは行きたる上ならでは決定せざるも要するに時局の發展に伴ひ相當設備をなし又必要なる施設を加ふべき事もあり夫等に付若干の考案をなし來る豫定なり浦鹽方面は吾が軍司令部の駐まるあり政治的に將た軍事的に見て最も重要なるも經濟上の見地よりすれば哈爾賓の地位は浦鹽以上にありと云ふべく勞々北滿の經濟上に步を進めつゝある鮮銀として浦鹽に人を派して諸種の要務を處理する如くハルビン方面にも相當の策を執るの必要あり尙ほ出張期間並に歸期は全く未定の旅行なり

◎乘客賃金引上

松崎遞信局郵務課長談

二十一日より京日兩線の如く客車賃二等二割三等一割（前號に二割と記せしは誤り）を引上ぐる事となりたるが［illegible］は何故なりやと云ふに［illegible］は一二等は昨年七月以來既に約五割の引上を實施したるためならんと想像す又二十日に値上の許可を受け猶豫期間を置かず二十一日より直ちに實施するは聊か早計ならんも客は貨物賃金と異なり普通の事となるべし尙ほ大阪商船の如きも二十一日より引上げたるに付同航路を運行する［illegible］も自然若干の率の引上を行ふに至らん

◈總統選擧形勢

兩派鎬を削る

▼南方巨頭融和　現時の支那政界は總統選擧問題を中心として南北兩派互ひに鎬を削り居るの觀あり南方派は既に數日前唐繼堯、岑春煊、伍廷芳、陸榮廷の名を以て黎元洪氏馮國璋氏及各省督軍各省商務總會並に教育會各新聞社に對して廣東に開會すべき國會は正式國會にして完全に民意を代表すべきものたり既に法に依りて召集せられ茲に開會するに至れるが彼の北京に於る違法選擧に依る國會は民意を代表するものにあらず從つて國法上認むること能はざるなりと打電し倘北京國會に於て大總統を選擧するも之を承認せざるべしとの意嚮を示しつゝあり［illegible］の情報に依れば廣東の政界は［illegible］日改善せられつゝあるが如し多少［illegible］極間隙を來したるが如し要するに岑は陸の兵力に賴らざるべからず陸は岑と協力するが對北方策上尤も得策なるを知りたるに由らん

▼北方派對抗策　南方派の總統選擧に對する北方派の陣容如何を一瞥するに段派領袖の人物たる例の徐樹錚王揖唐の兩氏は新國會の召集を行ふと同時に安福倶樂部と稱する政黨を組織して新國會議員の籠絡買收に努め之に依りて豫定の筋書を實行して自派より總統を擧げんとするの策なるは云ふまでもなし而して北方派の國會觀なるものは前總統の黎元洪氏に依りて舊國會は解散せられ當時の混亂狀態より張勳氏の清朝復辟は企てられぬ茲に於て民國は一旦中絕せられたるものなり段氏の起つて共和を恢復したるは［illegible］國會組織法及び兩議院議員選擧法を改正せしめ此新選擧法に依りて新に國會を召集して總統選擧を行ふは決して違法に非ずとの見解を持するものなれば此見解の當否は兎も角南方派に取て寔に輕視すべからざるものあるべき也

▼南北國會對峙　斯く南北兩派が國會の開會を急ぎて總統選擧を行はんとするは正副總統選擧法第三條の規定により大總統の任期滿了三箇月前に國會議員は自ら集會を行ひ總統選擧會を組織し次期總統の選擧を行ふべしとの條文に準據せんとするものなるが袁世凱氏が大總統に就任したるは民國二年十月十日にして本年の同月同日は滿五年目に相當するが故に國會は自ら選擧を行ふものとす而して南北兩派の實狀を見るに北京國會は七月卅一日迄に參議院議員百卅九名衆議院議員三百卅三名［illegible］にして法定數を超過するに至りて八月六日より開會し猶ほ上海方面より廣東へ向ひつゝある議員の到着により優に三分の二の法定數を得て近く總統選擧會を開かんとする程度に達しつゝあり之れに對し北方派は十日北京に於て兩院を召集して

▼開院式を擧げ　着々諸準備進行中なり而して其の孰れが先に總統選擧を行ふやは頗る興味ある問題たると同時に南北共に大總統を擧ぐるの奇觀を呈すべく南方政府は既報の如く廣東駐在の各國領事並に北京駐在各國公使に對して承認要請の通牒を發し在支公使館を通じて本國政府に轉達せられんことを以てしたり果して各國が如何なる態度に出でんとするかは各國今後の對支政策を窺知すべき好個の題目にして我國としては特に注意すべき一大問題とすべし

◎城津建設事務所新設

成鏡線中部工事所管

滿鐵にては朝鮮線成鏡線中部建設工事を管掌せしむる爲め城津に建設事務所を新設することゝなり八月二十一日より其の開設を見たるが右城津建設事務所所管區域は成鏡線吉州端川間に亙るものにして從來元山建設事務所及び清津出張所の所管たりし區域に及ぶ結果元山、清津兩事務所の所管區域は當然變更さるゝこととなり從來『元山洪原間』を管轄したる元山建設事務所は『元山洪原間』を所管區域とすることに改められ又清津出張所に於ては『輸城鏡城間』を『吉州間』と變更されたり尙ほ所長としては本社工務課の福井益氏任命せられ同時に所員十三名も夫々任命されたり

◎一銀店長異動

第一銀行京城支店支配人は左の如く今回更迭發表されたり

京城支店支配人　西村道彥
橫濱支店支配人
熊本支店支配人　竹村利三郎
京城支店支配人

同時に京濱支店長西園寺龜太郎氏は本店支配人に深川支店支配人永田甚之助氏は熊本支店支配人に轉任したりと

人事消息

▲都澤正章氏（中央試驗所技師）織物狀況調查の爲め廿一日平安南道咸鏡南北道へ出張を命ぜらる
▲田中榮吉氏（視學官）學事視察の爲め廿一日開木原へ出張を命ぜらる
▲小田原幸吉氏（陽井縣商業學校長）廿一日村井府訪問夜歸京の筈
▲中澤滿男氏（陸軍教授）歷史地理研究の爲め滿洲より廿一日夜入京廿二日朝出發元山へ　▲時野常三郎氏
▲幾田四氏（農務課技師）廿一日內地へ
▲吉田文學博士　廿二日より廿四日まで元山高等女學校に於て開催する小學校長及普通學校長講習會に出席の爲め廿一日出發元山へ
▲藤川利三郎氏（平北道長官）二十一日夜入城浦尾へ投宿の筈

◆取消　二十日夕刊一面所載『官吏增給の議』は取消す

茶前酒後

◈滿蒙派遣軍の、我先鋒隊は、既にチェック軍後援として、ベーヤ河畔に、敵と相對し、特に其の第一彈は、敵膽をして寒からしめんとす。九州男子の得意憶ふべし我常勝軍の進擊する處、鐵袖一觸のみ必ずや近く快報到らん。

◈滿蒙方面の形勢、既に斯の如きと共に滿洲里方面に於ても、セミヨノフ軍赴援の我枝隊は、其戰鬪部隊又た、ハイラルを經て長驅、夫のツアガンに向ふ。東西の戰況、正に斯の如し。旭旗堂々極東の山河を風靡する、豈に近きにあらん、又快又快。然れども徒らに戰捷に醉うて、國民は上下一致、後援の任務を忘るゝ勿れ。

◈一旦騰貴を來したる米價も、漸次下向となり、更に慈善家に依て廉價販賣の爲に、人々は稍や生活の安堵を得んとしつゝあり。此向、決行せられつゝある、救濟令や、ならば、否、最う一段と主要食料の儉約を守らば、最早何等の不安もなかるべし。然れども吾人は今日の結果として、憂慨更に多きものあらん事を思はずんば非ず。

◈今日にして之を憂ふるは、早計なりと云ふ人もあらんが、吾人は決して爾思はざる也。昨年の例より見て、且つ時局より察して、本年薪炭の窮乏は、蓋し思ひ半に過ぐる者あらんと共に、其の暴騰も亦推知するを得べし。

◈寒國に於ける薪炭の窮乏は、殆ど主要食料の缺乏と等しき、苦痛を感ずべし。此の窮乏を見越して、奸商輩の今より手を廻して、之が買占をなさんとする者、續出せざるとも保せざる也。されば吾人が憂ふる處は、即ち此の點に存す。

◈我米價暴騰が、一部奸商の買占に依て、意外の結果を來せしことを思へば、薪炭たりと雖も、奸商の買占が、又意外の結果を齎すべきは論を俟たざる也。吾人の切望する處は、當局亦今より茲に留意し、其の調節を考へ、宜しく諸民をして、不安の生活に、陷らしめざらん事を。

◈工賃値上廣告

諸物價騰貴の爲め今般組合決議の上工賃を左の通り改定仕候

一、工賃（一日）金貳圓

京城和洋家具建具工業組合

旅行用具一切

流行洋傘各種
專賣品柳製鞄
東京製鞄各種
防水布マント各種
魔法瓶及中瓶取替

鞄製造販賣

京城本町一丁目
高木旅行用具店
電話一三四番

サツポロビール

◆サツポロビール第一回懸賞廣告意匠應募圖案第一等當選
應募者　平安北道熙川郡熙川面　堂久藏氏

◈お待兼のお伽噺イヨイヨ出來!!

五百部限り特價二十錢（賣り切れぬ内購求あれ）
八嶋柳堂著　古賀祐雄畫

◈少年少女の讀物◈

教訓お伽噺

美本入二百七十頁　定價三十五錢

◆それは〳〵お面白いお伽噺◆
◆それは〳〵悲しいおこぎ噺◆
◆それは〳〵お爲になるお伽噺◆

發行所　京城日報代理部　京城太平通　振替三〇〇

販賣所　大阪屋號　巖松堂　日韓書房

（時間表）大正七年七月一日改正現行

◎愈々戰ひだ
晴の舞臺の幕は開いた
今頃はもう滿洲里の野に日章旗が飜つて居るかも知れぬ

★滿洲里から約五里ばかり西方に司令部を置いたセミヨノフ軍も獨墺俘虜軍の壓迫を受て一時海拉爾に退却した其後日本軍の北滿移動に勢ひを得漸次進出してツアガン附近で悲憤切齒して居た相であるが

★ツアガン は滿洲里と呼倫池畔のダライノール驛との中間にある名もない小驛である此驛から滿洲里までは約四里、獨墺俘虜及び赤衛軍が退却したマツエフスカヤまでは約十里あるが此邊一帶は鐵道線路の北側には興安嶺の山脈が起伏して居るが南側は一望際涯ない大曠野で

★赤い夕陽 が地平線の彼方に沈む時の光景は實に雄大なものである、あゝした大曠野で幾萬の鐵騎が砲火を交へる時は恰もトルストイの『セバストポールの陷落』を眼のあたりに見るやうな光景を展開するだらうと思はれる

口コ殿下 御歸英
◇……御恙なし

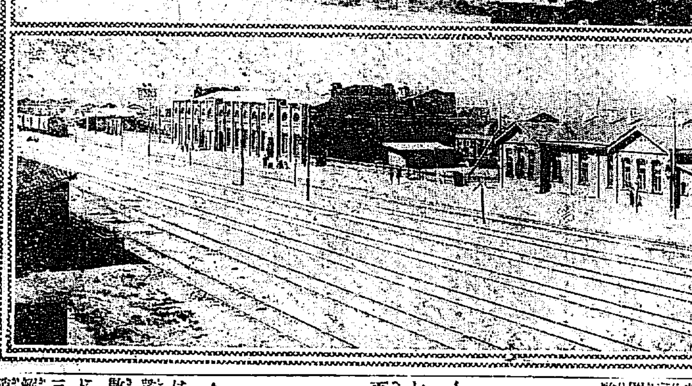
過般御來朝のコンノート殿下には我戰艦○○にて英國○○港に御安着遊ばされたりとの報あり（東京特電）

位である、附近には石炭が少し產出する許りであるが北の方にはザウオードスキー其他各地に金銀銅石炭等を產する有名な

★鑛產地 があつて、米國實業家が盛んに投資をして居て日本人でも先般飛行家の尾崎行輝氏と共に北行した瀬尾氏が鑛業權を得て居る位に有望な地がある目下我戰鬪部隊は海拉爾に到著して赤セ軍を敵ふ可く反驅しつゝあるが海拉爾から滿洲里までは約百露里だからもう疾くに日章旗が滿洲里あたりに飜つて居る事と思ふ

★滿洲里には あの騷ぎがある以前は邦人が七十ばかり居つた今は殆ど避難して居らないが、我軍が次第に敵を奥地に壓迫して行つたならば又以前に倍して人口が增加するであらう、我軍もザバイカル線とウスリー線の分岐點に當るカルイムスカヤを占領してウスリー線にある敵軍を袋の鼠の如く

★壓迫する日 も遠くないさうなるとイルクツク以東にあるチエツク軍も救はれるから彼等は一日千秋の思ひで我軍を待憧れて居るであらう（小田桀氏談）



◇滿洲里（上）市街（下）停車場

◎愛馬が
自動車に愕いて狂奔した爲

一戸大將遭難後聞　陸軍教育總監一戸兵衛大將が落馬重態に陷れる事は二十日夕刊所報の通りなるが今其詳報を聞くに十九日午前十時大將は馬丁一名を從へ教育總監部に出勤の途次青山練兵場中間なる信濃町ステーション方面に差蒐るや大將の乘る愛馬が附近を進行しゐたる自動車に驚き突然狂ひ出したれば大將は力の及ぶ限り之れを制止せんとせしも暴廻の途に大將を左道塚に振落し尙近衛步兵第四聯隊方面に疾走したるが落馬せし大將は

右足が鐙を外れざりしより頭部を地上に打付けつゝ十數間引摺られ後頭部に裂傷を負ひ腦震盪を起して人事不省に陷りたるより附近に居合はせたる人々力を協せ漸く馬より大將を卸して手當を加へ陸軍大學より馬丁の急報に接して中井副官軍醫其他を從へ驅付け急行其場に於て

應急手當を施し漸く蘇生せしめたる上陸軍大學醫務室に於て十分なる手當を加へ繃帶を施し元氣の回復するを待ち正午赤十字病院に入院せしめたるが餘程重態の模樣なり

□善美を盡した元帥刀
二十日の閣議で決定さる

鍔元と鞘に燦然たる菊花御紋章を現はし金色の革帶で吊す

元帥佩刀は二十日の閣議にて元帥條令改正と共に決定すべし右佩刀に就き和田高級副官曰く『英國の元帥杖とは性質を異にし單なる記號にあらず昔時元帥出征の際陛下より節刀を賜へると同一意味を寓せり裝飾は極めて美しく無造の太刀の如く二個の輪にて金色の革帶に吊し刀身鍔元鞘に皇室の御紋章輝き佩刀佩用の場合は服裝規則を改正し其上決定せん節刀の性質上元帥出征の場合禮裝の際陛下御召の際等に佩用の事に決定さるべく右佩刀は英國皇帝にも御贈進あらせらるべし（東京特電）

英國皇帝にも御贈進

◎米安賣り
二十日の成績
相變らず繁昌す

京城救濟會の細民救助及び米の廉賣は日を追うて益々盛況を呈し每日廉賣豫定石數の殆んど全部を賣捌居れり之に由つて一般府民の受くる利益及び生活に對する恐怖の念を幾分にても緩和せしは又疑を容れざる事實にして救濟會の事業が誠に時機に適せるものたるを立證するものたり而して施米及び廉賣開始の影響として市中小賣白米商其他に直接間接の影響を及ぼし之を以て昂騰せる米價を幾分にても調節し引下げ得たりとすれば又喜ぶべき現象と言はざる可らず

◇總賣高二百石　京龍九箇所の廉賣所に於ける二十日扱ひ廉賣石數人員其の他を聞くに左の如し

		拔石	不二	外國米
▲南大門廉賣所	石數	八、八三三	一七、〇八	三、一八
	人員	四五四	一〇五三	一五九
▲日の出廉賣品	同	一三、八七	八、三三六	二、八〇〇
	同	十九一	四三八	一〇〇
▲櫻井町	同	二、五六	一七、〇七	二、五〇
	同	五八七	八九五	一二五
▲於義洞	同	二、二一	二六、二四	—
	同	一一二	一五六一	—
▲校河	同	一、三九	一四、四九	—
	同	七二	八一九	—
▲鍾路	同	三、九六	一七、五八	—
	同	二〇二	九四九	—
▲櫻洞	同	六四	二一、一三	—
	同	三三	一一四二	—
▲龍山	同	二、七一	一六、五五	—
	同	六二五	九三二	—
▲元町	同	八、〇〇	九、七九	一
	同	四二三	五八〇	二
▲合計	同	六二、〇七	一四八、二九	八、五〇
	同	三三九九	八三六八	四二五

▽廉賣米 廻著順調

東拓が廉賣米として提供したる籾は鐵道沿線所在の分は既に迅速に輸送を爲し京城に於て精米の上夫々廉賣に供する筈なるも而して漢江沿岸所在の分は漢江增水の爲め多少の遲延を見しも兩三日中に輸送を開始すべく（約四千石）即ち廉賣米は頗る豐富にして其の廻著狀況頗る順調に在りと觀測せらる

▽外國米の需要增加す

廉賣第一日は外米の賣行極めて渺かりしが第二日より漸次其の需要を增加し即ち第一日賣上高十四石に對し第二日は三十九石二斗八升を算し尙ほ今後增加の傾向に在る安價なる代用米の需要增加せるは米價調節にも最も緊要なる事柄にて喜ぶべき傾向なりと云ふべし

◎下關から米買ひに
釜山高値の內幕

一時日本一の最高値を現はした釜山の米相場も內地瓦落の影響を受け、全鮮に魁して崩落し、最近まで

◇京仁地方 よりも下値にあつたが、朝刊所報の如く內地から買注文入込んだため正米市場は又復持直して正米一圓高の三十五圓白米小賣値は升に就き一錢五厘高の四十錢となつた、之より曩に關市役所及び同地商業會議所では同地に於て廉賣に附す可き

◇米の買入 れとして會議所議員の小島幸助、前田金造なる者が釜山に乘込み來つて買注文を發した、然るに釜山穀物市場では買附には手も足も燒いた、苦い經驗があるので、此上乏しい在荷を引上られては市場を攪亂され人心を動搖せしむる虞があり且つ市場では二十日から五百俵以上の賣買を行はしめずと制限した手前もあれば註文の

◇數量次第 では無論拒絕する事となつたが、人氣は先走つて遂に燃み燃みあげ又再び騰貴し始めたのである

◎米屋警告さる 桝切れの爲

京城府內六警察派出所に於ては米の桝切れを防ぐ爲め店員が得意先に米を運搬したる其面前に於て之を試植したるに三十一商店共概して一斗に對し一合乃至二合の不足を生じたるが白米の再精白はその都度幾分の量込を來すは自然の理にして止むを得ずとするも中には三合以上四合五勺の不足を生ずるものあり依て本町署は三合以上不足の左記商人に對し一應說告を與へたりと
本町三丁目大山商店▲同町藤富商店▲明治町二丁目田村商店▲永樂町二丁目村島商店▲南米倉町柳其商店▲本町四丁目佐野商店

◎內地大豐作の見込
農商務省の調べ

十五日現在本年の米作は農商務省調査に依れば近年稀に見る良好の作況にて二百十日平穩ならば大豐作の見込なり（東京特電）

◎各地の騷擾
―◇內務省公報◇―

▲長岡市 十八日長岡市は甚だ無事夜九時頃約六百名の群衆公園に集まり懇諭に因り漸次退散せしも二百名の群衆巡查派出所に投石し一旦解散し後二度公園に三百名集まりしが降雨の爲め漸次解散し一團表町にて商店に投石し硝子數枚破壞せり暴行者四名取押へられ群衆は十二時退散せり

▲若山市 警察、軍隊の巡察隊市內を警戒し平穩なり

▲岐阜縣 惠那郡岩村町にて十九日夜十二時約七十名の群衆商店八戶を襲ひ表戶を破壞したる後公園に引揚げ再擧を圖らんとしたるも警官消防等包圍し午前三時退散鎭靜に歸せり犯人の檢擧せられたる者十名

▲三縣は終熄す

內務省公報に曰く、廣島兵庫愛知各縣の米騷擾は幾んど終熄し平穩に歸せり（東京特電）

▲京都府 廿日午前二時頃乙訓郡大枝村長野新田にて村民三十名民家の雨戶障子等を破壞し屋內に侵入して强談せるが間も無く退散せり犯人三名逮捕さる

▲福島縣 耶麻郡山都村本町にて十八日夜十時二十名の一團は市燈を消し村長宅外一戶を襲ひ投石し硝子戶を破壞し十二時解散せり尙安達郡渋谷村にては十八日夜八時半寺院の鐘を撞き百餘の群衆集まりしも十二時解散したり其後各地平穩なり（東京特電）

◎慶南の豪雨　慶南地方は十八日來の豪雨にて洛東江初め其他河川出水し稻其他に被害多し（馬山特電）

◎全州の米廉賣　全州米廉賣の初日たる二十日は內鮮人を通じ約三百戶に行き亘れり（全州特電）

◎博奕に負けて　京城瑞洞五番地韓致恩（三七）は京城鍾路洞百二番地金昌朱と曾て賭博を爲し百二十五圓餘を取て取られたることあるより之れを取り返さんとして同人を脅迫したるも結局金昌朱の告訴により鍾路署に檢擧さる

◎自轉車を橫領　京城授恩洞一五六金基奉（二〇）京城公平洞四班一五五李弼元（二三）の兩名は共謀して修繕を託されたる自轉車四臺を橫領して鍾路署に捕はる

◎體操教師縊死　廣島市新川場町私立崇德中學校體操教師若狹貫一氏（三七）は厭世心を起し廿日朝縊死せり（廣島電報）

內地見學團より（4）
大阪城と天王寺

▲十六日、朝宿を出て砲兵工廠を見學す、鍛造工場、木工場、仕上工場一時間餘巡覽して大阪城址に向ふ●第四師團司令部と書いた門を這入ると門番の一人が人數を調べる、誰か案內するかと思つたが誰も來ない、周圍が十間もある巨石を以て築いた內濠を這入つて、所謂天守閣の跡に行くと小さな祠がある、眺望極めて良くて一點の塵埃を妨げる者がない●四箇所の城門は眼下にあつて、天正の昔秀吉が三十餘國の役夫を用ゐて築いた壯偉の備を殘して居る、內濠は今尙大部分の形態を存して居るが、外濠は更に其跡を止めない●城を去つて電車で四天王寺に參拜す、電車を下ると直ぐヌツさ出た五重の塔が見える『お盆』だと皆云ふので參拜者と卒塔婆とが多い、卒塔婆と言うても經木で作つた一尺足らずのものだ、是を買つて何か文字を書いて貰ふ●三錢出して五重の塔に上る、狹い階段を通つて上層に上ると涼しい風が吹く『疲れば良いなあ』と思ふと『午睡すべからず』と書いてある、然し午睡して居る者がある●今度は五錢出して巨鐘に呆れる、高さ二丈六尺と稱錫街にある、隨分大きなものだ、天王寺で分れて各自、新世界に這入る街中を步き巡る●大阪の見物は先づ大體終つた、明日からは大和、奈良の方へ行く、今日を限りと皆は夜景を見に出て宿の二階は靜だ（十六日大阪にて）

◎三井、三萬圓を寄附す
朝鮮に於ける細民救濟の爲め

三井合名會社にては朝鮮に於ける細民救濟のため金三萬圓を寄附する事となり同社並に三井物產會社京城支店に於てその分配方に付協議の結果結局物產、礦業、植林その他三井の各事業に關係ある各地に對し社長三井八郎右衛門氏の名により左の如く寄附する事となれり

●京城 一萬五千圓 ●仁川 三千圓 ●群山 一千圓 木浦 一千圓 ●釜山 四千圓 新義州 一千圓 ●价川 一千圓 金剛山地方 一千圓 ●金郊 一千圓 鎭川 五百圓 ●汶山 五百圓 開城 一千圓

◎仁川救濟會
販賣と醵金

[illegible]石五斗あり粟も亦七石七斗と云ふ多數の販賣を爲せり尙ほ又鮮人に對し慈善的に外米の販賣を爲す[illegible]疫病豫防等の手續を了し入港と共に廿二日よりは新著の外米中一千袋[illegible]
▲金五百圓朝鮮銀行仁川支店▲金二百圓第十八銀行仁川支店▲金二百圓第一銀行仁川支店▲金二百圓朝鮮商業銀行仁川支店▲金二千圓第百三十銀行?[illegible]所▲一金三千圓[illegible]

佛國最初の郵便物飛行機運搬[illegible]
官營として開始
[illegible]

◎一家燒殺さる
[illegible]ちたるに忽ち炎々たる猛火は一家八名を[illegible]

[illegible]日午前入港新羅丸上陸一二等客九名（十一名旅趨）何和保四郎外人[illegible]
子高宮久子、同由美子、花田四郎、山田光子、同道子、木村七郎、佐山常同、同あい子、同不二子、飯防多富三郎、松本茂、佐藤三代瀬大宮[illegible]

緩衝機
（投書歡迎）

一部の成金へ
紅天狗

◆俺には世の中の一部の成金と言はれて居る者の氣心が少しも解らない雪駄の裏の一杯に黃金を張つて料理屋の仲居達の目を丸くさせたり信玄袋の中へ紙幣束で充滿さして料理屋の女中の度膽を拔いで喜んでゐるといふ話を聞いて俺は益々合點が行かなくなつた

◆米價が暴騰だと言つて世間一般に騷いでゐるのを屁の河童と澄し込んで、小成金や僞成金の輩がヤレ俺割だとか何だとか暴れ廻つてゐるといふのは何の態だ、俺達が困窮してゐるから救つて呉れろと言ふ譯ではないのだが、少しは世の中を考へて見るが良い

◆成金黃金は難有に相違ない利き目も覿面にあるだらう雪駄につけて喜ぶも良い、然し克く考へて見るが良いかう言ふ俗諺があるぢやないか、良いか、金があるとて高慢ぶるな佐渡ぢや蚯蚓が糞にひる何と面白いぢやないか、諸君は如何に思ふか

◆先日も誰方かが、救濟會へ少し許り寄附したと思つて恩に着せて呉れるなと本欄で言はれたが、尤も千萬である、ガイ其處ら邊所で少し許り寄附した連中良く聞くが良いぜ、人は金を殺つて絞り拔いて溜めた錢十か中譯ばかりに一人の非難といふ金錢の中からホンの御を恐れるかの樣にホンの御仁義的に端た錢を出して大きな顏をして貰ふまい、少し位の事で恩に着せられる樣なことなら、ビター文も出して貰はない方が俺達には何れだけ幸福だか知れない

◆序だから何つて置くが、成金連の一部の者や者特家連中は民衆の富を持つた儘地獄一切諸君等は極樂へ行ける見込なし─まで行けると思つて居るのか、死金を溜めてゐるよりも生きた金を使つた方が世の中の利益だぞ

◆最後に一言云つて置いて遣らう、三途の川の渡賃は、風說の結果物價騰貴したにも拘はらず、相變らずの六文で良い、それ[illegible]同樣に經濟上の發達につれて最近手形でも通用する樣になつた、血迷うて多額の金子を持つて行くまいぞ

八十五錢の日給で
月給取

◆私は日給八十五錢で一家五人を養つて居りますが左に一箇月間の支出表を作製しました
▲家賃四圓▲三等米四斗十二圓▲薪炭代三圓▲味噌醬油二圓▲煙草代一圓五十錢▲學費一圓▲野菜一圓五十錢▲魚肉一圓▲交際費一圓▲湯錢其他一圓五十錢▲石油代八十錢計廿一圓八十錢
右の計算に依ると三十日働いて二十五圓五十錢の收入で每月四圓三十錢宛の借金が溜つて行くのであります若し病氣でもしたら誠に哀れな狀態となります

◇各地の白米
（廿一日小賣值段電報）

▲全州 廿日同值一等三十六錢 ▲群山 變動なく一等三十六錢正米は天候不良の爲め三十三圓二十三錢强味 ▲馬山 一等三十八錢 ▲公州 一等三十四錢當分持合の氣配

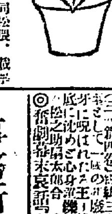
救濟會寄附

金百圓 大久保雅彥
金百圓 鬼頭千藏
金五十圓 關繁太郎（南口醬油醸造所）
金五千圓 仁川米豆取引所
金二百圓 北村貞太郎
金百圓 金漢奎
金十圓 李亨善
金五十圓 橋口卯作
金百圓 南方半次郎
金二百圓 高瀨合名會社 京城支店
金百圓 土井伊右衛門
金一千圓 齋藤久太郎
金三十圓 洪正燮
金五十圓 吉川太市郎
金三十圓 本社經由 東本願寺佛教婦人法話會
金三十圓 本社經由 禪宗中央布教堂
金百圓 右同 佐野彥藏
金百圓 熊平支店
金二百圓 李允用
金百圓 趙鎭泰
金百圓 韓相龍
金二百圓 本社經由 全命基
金二十圓 右同 權重鎰
金百圓 右同 白雲化
金五百圓 右同 趙鼎允
合計 八千五百七十圓
累計金二萬七千九百五十圓也

△訂正 二十一日京城救濟會寄附金中藤間信太郎とあるは藤谷信太郎の誤植

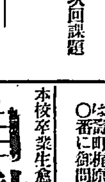
讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

▲締め繪



◎朝顏（一等） 鳥致院本町二 井手商店 水野龍之助

佳作者 京城折本、同茂呂、同松隈、戰亭生、仁川龍波子、釜山寫祥生



次回課題

演藝案內

東京小林商會朝鮮一手代理店 米國ユニヴアサル會社特約 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 **有樂館** 電話（落下二）〇五番
當る八月十六日より公開
◎實寫 鰐狩 全壹卷
○人情活劇 米國ユ社バイソン映畫 馬賊の最後 全貳卷
○アイリン、セジウイツク孃出演 フレツド、チャーチ氏出演 ユニバーサル社第三回蝶蝶劇特作品
◎社會劇 拜金狂 全五卷 メリー、マイラレン孃 ボーロ氏出演
◎名優大競演 同一回ご好評を博せる實演 ◎喜劇社會劇 物價騰貴通し
○人情活劇 人民 全五卷

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番
○八月十四日より開演 東京大阪合同浪花節大一座 [illegible]

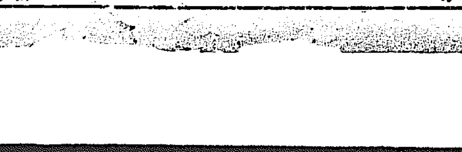
壽館 本町一丁目 電話一〇五〇 八月廿一日十日間 替り演題 [illegible]

黃金館 電話二二六三七 二二六六 ◎眼覺しき大寫眞◎ 當る八月六日より
現れたり大每日新聞連載 ◎無双の哀切 桑の中 全三百二十場 長らく大每紙に連載されたる小說を脚色し京城に於て撮影村四郎五郎一派出演
◎第八回 百萬弗の秘密 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三 當る十六日より特別大寫眞 [illegible]
◎新派悲劇 有夜の月 全四卷
◎連續第二 秘密の王國 全三卷
◎味原池心中 全三卷

紳士の頭髮を飾る 高等煉香油 二葉ポマード 大阪久寶寺町 丸角倉化粧品店

質 大塚質店 京城明治町二丁目 電話一八四九 戰慄すべき火災の防備に遺憾なき完全なる倉庫 多額の融通に御便宜を圖る

醇良清酒 大阪府堺市 釀造元 發賣元 肥塚源次郎

京城本町一丁目 電話長二九番 特約販賣店 佐藤牧太郎

鯨尾羽毛大販賣 鯨皮各種 羽毛刺身代用品 鯨問屋 香月商店（京城明治町二丁目 振替口座四八四六番）

くだりはらよし

コレガ有名ナ あかたま 淺野製

しほ[illegible]

自動車 運轉手技術取得者となり收入莫大なり校外生及校內生大募集規則送 東京市 京橋區 東京自動車學校 大阪市西區市岡町 大阪講習所 本校卒業生愈々不足校外生と雖も

事務所向貸家 黃金町二丁目三便の地に事務所向貸家あり希望の方は町尻原方か又は電話二一四番に御問合せを乞ふ

わきが 特効藥ファーザーを御用ひあれ 六十錢一圓 京城黃金町三丁目 山田文殊堂藥房 電話二九四九番

天氣 晴 （二十一日午後六時より二十二日午後六時迄）[illegible]

日出 五時五十四分 日沒 七時十八分 滿潮 仁川 午前[illegible] 午後[illegible] 釜山 午前[illegible] 午後[illegible]

元山の一日

佛作つて魂を 入れぬ松汀里の海水浴場

松汀里の濱は前に言つた通り風光は却々佳い、見様によつては或は、京管の所謂『須磨、舞子の濱』以上であらう、が然し、いくら贔屓目に見ても海水浴場としてはまだ遺憾ながら、決して設備が充分だとは云へぬ、無論、橋もある、浮もある、脱衣場もある、洗ひ場もある、と斯う並べ立てると却々立派らしいが其の實、脱衣場には番人も居らぬし洗ひ場はあつても肝腎の水がないと云ふ始末、昔から無い袖を振つた馬鹿がなく裸體で将をからけた阿呆が居らぬ限り無い水で體を洗ふことは到底出來ぬ相談、洗ひ場に水が無いなんぞは氣も利いて居るが間も抜けて居る、脱衣場の番人はなくても好いやうなもの、矢張必要、幸ひにして何の間違ひもなかつたから好いが、若し游泳の眞つ際中梁上の君子とやらが他人の着類を洗ひ攫ひ、コッソリ失敬したとしたら失敬されたものは一體何うなる、それこそ裸體で道中がなるものかだ豈夫斯んな事はないにしても、『や帽子が變つた』『履物が違つた』などはよくある奴、事此細なりと雖も是程不愉快なものはない……要するに矢張番人は必要だ。

無いと云へば最一つ救助船がない、河童の河流れ、猿も木から落ることやら、如何な水泳の達人にも萬一の過ちがないこともいへぬ、是を思へば脱衣場に水はなくとも洗ひ場に番人は……オヤ／＼違つた洗ひ場に水はなくともだ、何とかして救助船の一隻や二隻泛べて置いた所で格別損は當るめえ、其外何もない居も欲しいと云つた風に數へ立てれば際限がないが、僕は是を悉くなど、決して野暮な事は言はない、唯最う少し發達して最う少し設備を充實して貰へば夫で好いのだ、現在の儘では本當に體を晒いて晴を點ぜず、佛作つて魂を入れぬと同樣、是れでは京城三界から態々出懸ける程のものぢやあるまい、とは例の姿協將軍の日くだが尤も千萬……。

聞けば元山には繁榮會といふものがあつて、土地の繁榮のために絶えず努力して居るといふ事だ、結構な事だが、然し、平原鐵道の敷設や中學校の設置ばかりが繁榮ではない、假令小さくとも最う少し手つ取り早い問題がいくらも眼の前にゴロ／＼して居る筈、海水浴場なぞは最も其の好い例で遣り方一つでは此の上もない繁榮策である、だから是に向つて力瘤を入れるのは繁榮會の目的の上から見て當然の義務と云つても好いのだが、面倒臭いのか但しは又取るに足らぬ些事と見てるのか、頗る冷然として所謂『知らぬ顔の半兵衛』を極め込んで居るやうだ、恐くとも風來坊の目には然う見ゐる何？、態と知らぬ顔して居るのぢやない金がないからだと、吝嗇臭い金々言ひなさんな、其位の金は何うにかならあね。

◎時局紛糾の爲め 混沌たる浦鹽

チエックの意氣 英兵上陸の光景

日本軍は未だか／＼といふて待つてる矢先一萬噸級の汽船を商業埠頭へ横着け逸早くもカーキ色の軍服に同じ色のヘルメット帽を戴いた〇個〇〇隊約〇〇名の一隊を露國人士が日夜外國出兵問題で喧ましく論議してゐるのを事もなげにスウェートランスカヤの大通りを通つて市の東端スラボーフなる舊兵營指して上陸せしめたのは英國であつた運送船は平水號と云ふ支那の汽船である三日の午前九時に上陸は濟んで其後は引續き軍需品の陸揚に從事してゐる英國兵が來たといふので上陸當日諸人は大方埠頭へ押し寄けたが埠頭通路の關門には數名のチエックが張番をして英米人や日本人の外はどうしても通さない自負心の強い露人が露國港内を露人が通るを何故止めるかと喰つて切れば

◇チエックはセゝラ笑て◇ 君達の國は聯合國の一員として役目を立派に盡し終つてゐるかと痛い所を突いて遣り切な胸鐵砲だチエックの軍樂隊と同兵二十名及び英水兵二十名の一隊が先導の役を承はる爲めに英軍隊を迎へに來た道筋はもう一ぱいの人群りチエックの本部前には

◇各國陸戰隊長高指揮官◇ が英兵の通過を待受ける加藤司令官を筆頭に英艦長チエック隊長マサリヒ提督米艦長米司令官ナイト將軍並に各國陸戰隊代表部隊約〇〇名死が同隊前に塔列して英兵の到着を歡迎した

◇英軍隊の指揮官として◇ は濠軍大佐ドルストーフ氏が馬上颯に出迎への各國武官に會釋して悠々と進む隊は直ちにスラボーツカの〇〇棟の兵舍に收容せられたそして五日には約〇〇名の英兵は哈にニコリスク方面に向つて出發した英國側の出兵意見は

◇派遣部隊の〇〇を浦鹽◇ に留め〇〇を北進せしめてチエック兵を後援し以て共同出兵の目的に副はしむるのである同じく三日にはホルワット將軍が老軀を提て遣つて來た目的は政況視察と言ふのである之に對して立憲民主黨機關紙西伯利政府派の新聞ダリヨーカヤオクライナ紙はホ將軍何故の來浦ぞ彼の周圍には幾多の帝政黨員有るにあらずや彼は自稱露國の爲政者となし

◇露國の民衆の九十九%◇ までは無學文盲なりと言ひたるが彼は之によりて露國の大多數の民衆を蔑視しつゝ尚露國の爲政者と呼ぶ而してその民主派の新聞に迫害を加ふる謂に至りては現代露國人は斷じて之を赦すべからず我等は極力彼を排斥すべきなりと敦圍きつゝあり然れども亦ホ將軍は

◇何ども言はずに馬耳東風◇ その機關紙プリモーリヤを通じて盛んに自己の正義を主張し予は露國を救濟せん爲めに起てり豈一片の野心あらんや唯現下露國には有力なる政府之なし予は有力なる政府の出現を俟て潔く掛冠すべし民等と語り輸出入規定を發布して民心を嚮へ軍隊を招致して威を示す等の方法を講じたるが斯くては唯政局內爭益々多端なるのみなるを慮り

◇聯合國武官はホ將軍に◇ 提議してその軍隊を解散しグロデコーラに送還を求めたるが將軍は之を容れたりと云ふ然るに五日セミヨノフ突然來浦したるが新聞はその目的について多く語らず唯セミヨノフはホルワットと理解し

◇ザバイカル戰線復興の◇ 爲にホ將軍の盡力を乞ふ爲なりと云へるがセミヨノフは去六日再び哈爾賓方面に特別列車にて引還せりかくて浦鹽の政府はホ將軍派と共に益々多端となり州自治團は當地方の

◇絶對主權は我に在りて◇ 決して他の何人にも有るにあらずと稱する等局面何時の時より平靜となるや圖られず勞兵會倒れて後尚內政紛糾加ふるに近く佛日米支の軍隊來著し各自その欲する政黨政派と陰に陽に後援せんは蓋し自然の數なれば當地の情況益々

◇混沌の度を加へ來るや◇ 必せりハバロフスク方面の戰況進展せずハブロフカは目下萬一の點クラスナーヤレーチカ（紅い河）赤衛軍集中し同市の南三露里の地附近には塹壕を設け鐵條網を張て防備を嚴重にすと聞きたるが加ふるに去月廿六日の當市參會の選擧には

◇過激派過半數を占めて◇ 依然優勢を持しつゝある今日露國極東の一部沿海州方面に於てすらかゝる紛雜の狀あり聯合國共同出兵が果してこの混沌裡に一道の光明を投得るか否や

◎經濟鐵道たる 平元線

◇平壤商業會議所調査◇

◇横斷航路と平元吉會線◇ 日本海横斷航路は本年四月朝鮮總督府の命令航路として朝鮮郵船株式會社に於て經營するものなるが開航以來貨客の成績頗る良好なるものあり然して現在航路平壤丸は一千噸級にして命令條件たる二千噸級に反せるも早晩命令級航を見るべきが現平壤丸の貨物積載量は七百噸なるを以て往航に於ては満船の姿なりと雖も復航甚だ不振の感あり而も其の多くは雜貨の爲めに特に此の線に依れる平壤送り兵器工廠材料品なりと言ふに至りては聊か心細き次第なれども之等は漸次航路の利用周知すると共に運下ち十萬噸の見込みあり然して目下の積荷は往航に於ては水產物穀物を主とし復航は麥酒、和酒、陶器、綿布、雜貨類等なり

◇現横航と内鮮物資算定 然して現横斷航路に依る内鮮移出入貨物は背面の交通鐵道を別として向は且つ次の如き數字を示し居れるは平元線開通後の將來亦推して知るべきものあり即ち內地より朝鮮へ移出する物資は二萬六千八百十九噸五百四十三萬一千五十八萬五千八百六個にて外に旅客約三萬人あり、方今時局の影響に依る輸送の變態よりして群山、仁川、鎭南浦等の對內地米穀移出米の本航路を利用するの傾向顯著なるを示し既に六月末現在に於いて穀物輸送申込みを受けたるもの九千九百噸に達し居る狀況に照し二千噸級船の就航を見るに至るも當分本航路の往船は貨物の不足を憂へざるのみならず益々船腹の增大を必要とすべしと雖も完全なる背面との連絡交通機關即ち平元鐵道の布設を見ざる上は本航路の大なる活躍を期待すべからず

◎眞鍮細工（續）

慶北一部長 吉松憲郎氏談

◇製作法 製法は全く舊來の方法を襲踏す即ち工場は鑄場と仕上場の二部より成り鑄場に於てはフイゴを用ゐて銅と錫とを坩堝の中に熔解し一定の鑄形に注入して器形を作出し仕上場に於ては足踏の轆轤を用ゐて器の內外を整へ更に磨き粉にて光澤を出し仕上品となす等通常見る所のサバル製作の方法と異なる所なし

◆◆本業と木炭 工場所在地は慶北の最北端に位し往古交通頗る不便の地たりしに拘らず斯業の創始を見たるは甚だ不合理の感あるも本業が木炭を消費すること多きと朝鮮に於ける林野荒廢材供給の困難なる狀態を察すれば

◆◆自ら首肯するを得べし 地を茲に選びたる現今本工業の爲にする木炭の需要は一箇年三十萬斤に達すと謂ふ而して數年前迄は附近國有林の盜伐盛んなりしを以て從つて木炭の供給も不足を告ぐることなかりしと雖も最近之が盜伐を嚴禁したるを以て本工場に使用する木炭を得るに窮し

◆◆如何に高價の代金を以てするも所要の燃を得ず遂に昨年末より休業するの止むなきに至れりと謂ふ然りと雖も此の如き名工業をして木炭不供給の爲め休業中止せしむるは國家の產業獎勵上最も悲しむべきものなりと思惟せる際有力なる同地方民の國有林中

◆◆枯損木を拂ひ下け之を原料として製炭し本工場に供給せむと願出づるものに會したるを以て元來奉化郡小川面の一帶は前記の如く國有森林の蔭蓊したるもののあり

◆◆千古不伐の林相をなし全く手入をなさゞる爲め却つて枯損するものあるべきを思ひ枯損木に限り相當代金を以て拂ひ下げ之が伐採に當りては相當監務官憲に取締を依賴し以て所要木炭を本工場に供給するを得ば此の有望なる工業を

◆◆振興せしむべく慶北道の平素抱持せる殖產興業の政策を施行するに最も適當なるを信ず

安東縣繁昌記

すね男

安東縣を語るものは誰でも朝鮮と支那の國境である事を說き、境を劃して流るゝ鴨綠江の一大長江の雄大を語り、木材と柞蠶と大豆とを說いた後には必ず、情調濃かなあの俗謠を讀るであらう俗謠の情調を說く程の粹士は必ず安東縣の花柳界を語らずには居まい、私が安東縣に來て漸く草鞋を解いてから、まだヤッと一週間位にしかならぬ、隨つて以上の話題の外に安東縣に就いて何物の智識をも有しない、由來新聞記者と云ふものは普通の人より一般に、敏感な人種の樣にも考へられて居るが、私は新聞記者であり乍ら、人一倍鈍感な方で、昔から神童と謂はれた事もなければ、才子と賞められた事もなし、先づ十人並より劣り引きされる方の側の男で御座る、

今更私が私の性格を卑下して謙遜した處が、誰れも賞めても吳れなければ、氣の毒がつても吳れもせず、亦笑殺しても吳れまい、是は問題外ではあるが私も矢張り自家の故とはして見たいものと見ゐる拔て赤脫線かも知れぬが、天の時と云ふものは爭はれぬもので、暑い、暑いと謂ふて居る間に、何時しか秋は隣まで來て、夜、道行く人々の袖や袂にヒンヤリとした秋の風が吹いて居る、斯うと氣付くと、故鄕に殘して置いた、お袋や女房や、小供の身の上を思ひ出ては、嗟、もう冬衣の質受けをしてやらなくちや、ならないかと何とはなしに一種の哀感をそゝりて來る、又羈旅の淋しみなるものがしみ／＼と味はれる、

這んな事や、あんな事を考へて居ると、何處とはなしに、最も悠長な、そして哀愁を帶びた安東名物の時節が冷たい秋の風に送られて私の鈍感な耳に響いて來る

朝鮮で、一番高いは白頭山、峯の白雪ところとも、解けはせぬぞへわしが胸、每夜お前の夢ばかりチヨイ／＼

內地では大中小の成金のみがウヨ／＼して居て、金貨が道に轉がつて居たり、紙幣で鼻を拭たりするものがあるとのみ噂を聞いて居てが、矢張り私等見たいな貧乏人も居ると見ゐて、お米が高いの、御飯か頂かれないのと騷いで居るらしかつたが、今日此頃は亦何うした事、お米一升が五十何錢に値上げしたからとて、米屋の燒討ち、富豪の襲撃など、聞くも恐ろしい事ばかり、それさへあるに警戒のお巡りさんを打ち殺して放火强盜を擅にしたり、恰も滿洲や蒙古の馬賊同樣の態たらく、まつた、それより以上の大暴動を惹起して軍隊が出て警戒をする、射撃をする、衝突をする、戒嚴令が布かれかねまじき大騷動だと、來る號外も來る新聞も血醒さい事のみを報らせて來るのは亦何うした事であらう

安東縣の米も一時は圓に二升臺を跳越し相であつたが、さすがは民地の有難い事には、まだお米が高くて稼されぬの、御飯にありつかぬのと云ふような、悲慘な絶叫を聞かない、安東縣に來た匆々の米屋の旦那さんに安東縣には大騷動はありませんかと聞いて見たら、旦那さんの仰せらるゝには、一安東縣は景氣が選ひますと一本お面を參られたに見ても安東縣は天下太平であると云ふ事が首肯かれる

◎でき秋まで 滿洲は今閑散季

由來七八月は滿洲各地夏枯れ時期にして最も閑散を極むるは免れず奉天の如きも經濟上あまり著るしき變化を見ず只洋錢が支那銀行の回收甚だしきに依り市場流通高の稀薄を來し一方出兵氣構へにて露貨の思惑者頻出したる結果甚だ洋錢需要激增し一層强調を齎らせり一時金百圓對八十八圓と云ふ高價を現出したりしが今日に於て再び平調に歸し九十二圓內外なるが如し露票の如きも餘り大變動はなく百五十留乃至五百留の間を上下しつゝあり支那金貨本位實施てふ評判が擴がると共に金は漸次弱氣配に赴くなきやと杞憂せるものもあり物資の如きも南滿に於いては缺乏を見ざるを以て今の所急激の變化なかるべく若し交通舊に復し船腹の充分と鐵道輸送の敏速を得ば目下北滿に於ける諸物資の不足を補ふため一時盛況を見るを得べしと思はるる點あり併し今の所至極閑散にして各商家共一日も早く購買能力の盛大なる秋收期に入るを待ちつゝあり（奉天）

◎便利な新市場

◇撫順に出來たる會社◇ 撫順市場株式會社は本日盛大なる開業式を擧行せり同會社の事業とする所は鮮魚の競賣野菜果物販賣其他海產物委託販賣等を以て重なる事業とし附帶事業として元滿鐵社の建設せし市場家屋を借受け新に改築を加へ三十餘戶に貸與し魚類、野菜、果物、食料品、雜貨、日用雜貨等の小賣をなさしむる筈なり同會社の主意が營利的と云ふより寧ろ一般に至便を與ふと共に公衆衛生の取締上に便せん目的なるを以て諸設備等甚だ見るべきものあり社長は撫順炭坑庶務課長小日山直登氏にして專務としては山本新太郎氏其の經營の任に當り專ら撫順市民を稗益せんことを圖ると云へば漸次盛大の域に達するを得べし（奉天）

◎平北の財產家

平安北道內に於ける資產家調查の結果を聞くに一萬圓以上の資產を有するもの內地人二十九名、鮮人一千百三十五名にして其最高は內地人に於ては十萬圓、鮮人に於ては八十萬圓なり而して右一萬圓以上の資產家を地方別によりて示せば左の如し

義州（三八）龍川（一八二）定州（一一〇）寧邊（一二六）郭山（一〇八）宣川（六六）龜城（三六）新義州（三三）[illegible]（二〇）泰川（二四）江界（一七）昌城（二六）楚山（一五）熙川（一二）渭原（九）朔州（四）厚昌（三）慈城（二）

右に據れば多くの資產家は概して鐵道沿線に多數を占め奥地に進むに隨ひて其數減じ居れる傾向あり而して之を內鮮人別に列記せば左の如し

金額	內地人	鮮人
一萬圓以上の者	二二	九五一
五萬圓以上の者	六	[illegible]
十萬圓以上の者	一	三八
廿萬圓以上の者	全部	鮮人

◎支那米輸出

前財政總長王克敏は米穀會社を設立し支那內地の米穀を買占め外國へ輸出する目的なりと本社はすでに農商部の許可を得たり又同氏計畫の華通輸出公司は當分許可せざるべしと（北京）

◎鄭將軍と名乘る賊と其乾分

◇兼二浦市中を荒す賊◇ 兼二浦警察官駐在所に於ては過般來鮮人の不良少年團を檢擧し鼠賊退治をなしたるが其後にても引續き白晝各所にて靴洋傘時計履物類ビール煙草容器等の盜難に罹ること頻々たり尚犯人の搜索中なりしが茲に本年一月頃より兼二浦玉川樓裏手の一郎を根據として一定の職業もなく日々市中を徘徊する黄州生れの粹名を鄭將軍と呼ぶ鮮人及び姜德哲、李昌燮と稱する二名の鮮人あり同警察に於ては早くも此の二名は右の犯人ならんと目星を付け一詞を拉致して取調べたるに果して此二名は鄭將軍を頭目とする盜賊なりと云ふ（兼二浦）

◎酒掛りの醉漢に殴られた女將

◇刑事が宥めて幸せ◇ 兼二浦三菱製鐵所職工東社宅百九十一號居住福岡縣生れ富永雄二（二三）同西社宅居住大分縣生れ田中藤市（二〇）の兩名は何處で飲んだか兼二浦新市街菊屋旅館の前を通行中同旅館の女將が宿泊客と共に表に於て涼みゐたるに對し喧嘩を吹掛け遂に女將を道路に引き出し散々に殴打したるが恰も投宿中の平壤署の寺田刑事が此の騷ぎを聞付け駐在所の大川刑事と協力して醉漢兩名を取押へたり（兼二浦）

◎果して餘罪

◇兼二浦にて被害多し◇ 過般平壤府內數箇所に於て數千圓の竊盜を働き平壤署の寺田刑事の爲め捕はれたる既報の强竊盜前科三犯東京神田生れ福崎常造又は中村米次こと山本萬吉（四七）及び東京小石川區大塚町强竊盜前科四犯石梅吉こと加藤新吉（三〇）の兩名は平壤に於て竊盜を働き其の筋の搜查嚴重なる爲め兼二浦に逃れ來り多喜旅館に宿泊し三菱製鐵所社宅河崎眞吉及び同森田保の留守宅に忍び入り衣類四十點價格二百圓及び兼二浦小學校裏多保政正方に忍び入り柔銃外數點此の價格六百圓の物を竊取し又も平壤に高飛したる餘罪判明したり（兼二浦）

◎安東縣近信

◇陳列所擴張 安東商品陳列所は御大典記念の爲めに創立せられ安東商業會議所に於て管理し來りたるが限りある經費を以て限りなき擴張を爲す事は到底企及し能はざる處なるが縣に議會に於て農商務省が南洋其他の新植民地に商品陳列館の如きものを新設又は既設陳列館の保管轉換の議決ありたるに鑑み安東商品陳列所よりも農商務省に對し情を具し補助金下附又は商品貸下げの請願をなしたるに對し近頃同陳列所の經營方法其他一般の狀況を至急調查報告すべき旨を通牒ありたる由なれば早晩何等かの形式によりて擴張の機運熟すべしと茶木安東商業會議所長は語れり

◇兩種の案內書 安東縣は鮮滿境上に於ける一大貿易市場なるにも拘らず未だ新米の旅客をして安東を紹介するに足る安東誌的の著書なきを遺憾とし安東商業會議所に於ては安東誌發行の計畫あり目下材料蒐集中なる由なるが安東居留民團役所に於ても同樣の計畫あり双方同一のものを著述發行するが如きは考へものなればとて商業會議所側に於ては傍觀の態度を執りつゝある模樣なるが双方の希望には多少の差異あるは免れざるべしと

……より門拾申込みに關するもの四石六斗九升に達し鮮人七斗四升開拾申込二千八升が米の販賣高は二十七石四斗九升にして門拾の申込み一……く各方面に向つて外米の拂下を運動せるが愈々廿一日夜確定の外米を積載したる大阪商船の[illegible]丸仁川へ入港と決せるを以て特に除……

▽其後の醵金者 二十日午後より廿一日正午迄の醵金申込金額並に氏名左の如し ▲一千圓 [illegible]行 ▲金一百圓 [illegible]

◎佛國最初の 飛行郵便

……の兩地に着陸する筈なるが兩地間四百北米突を著陸時間共片途五時間にて飛行の由なり（巴里十七日發電報）

……及び同家家族八名を屋內に追ひ込み群衆は戶締りを爲して火を放……て鎭撫に努め多數の負傷者を出せり（名古屋）

◎連絡船上陸客 二十……

……田武士、北原正人、北村[illegible]、同みち、同よし、李[illegible]、松同さ、松浦松之助、小米きりね、味澤中、同みち、同邊太郎、同[illegible]、同正道、同けさし、同三男、佐田[illegible]、市川時子、同あや、相原すゞ、武又、酒井勘太郎、山守保太郎、橋野勝五郎、篠田定夫、福澤久次郎、佐々木交雄、美代、竹下政、津上喜七……二百三十四名）

豫報 時 曇

京城測候所（八月二十一日午後）
前日最高溫度 華氏八十度一分 攝氏二十六度七分
華氏八十三度一分 攝氏二十八度四分

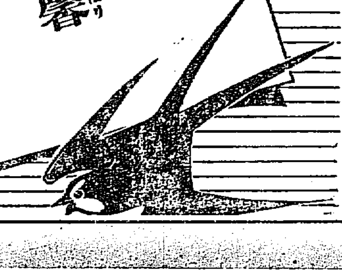
八十八夜 五月二日 入梅 六月十一日 半夏生 七月二日 二百十日 九月一日 彼岸 三月十八日 九月廿日 社日 三月廿二日 九月廿一日

美髮香油界の横綱

使つた瞬間から効果はメキ／＼
此の香油で得た濡羽色の美しい髮と
四邊りに薫ずる馥郁たる芳香は
夏むき一層人の好感を唆ります
東京 平尾贊平

レートポマード

ツバメ香水
氣品の高い馨
ツバメ香水の特長は得も言はれぬ粹で高尚な芳香です。世界名花の精を集めた氣品の高い芳香一度つけて永く保ち殺ろに愛用者の人格が偲ばれます



內科 胃腸病
診察夜九時迄
京城旭町一丁目 石川醫院 電話二三七九番

胃腸病にタラコン

普通胃腸の藥は唯だ一時の消化を助くるか無理に胃液の分泌を促すか又は胃液を中和するだけですが此タラコンは弛緩だ胃腸の筋を引締めて其活動を順調にし胃液を整へ消化を十分にして吸收を好くし本統に健全な身體となります苟くも胃腸病に苦む方は是非御試し被下タラの一種強烈なる刺戟は如何に頑固な長年の胃腸病でも確實卓効があります
散藥五十錢一圓二圓 錠藥一圓一圓九十錢 送料八錢 海外卅錢
本舖 東京小石川下富坂町廿 無量壽藥園 電話小石川二九五六 振替東京二〇〇二一

男に限り進呈

靑年も老人も生殖器衛生上必要の圖入說明書を葉ガキ申込者に無代送呈す
東京本材木町三ノ二五 東京新療法研究所
大阪市北區北森町 大阪新療法研究所
朝鮮京城本町二ノ七一 朝鮮新療法研究所

皮膚病にデルマチカ

數年間の痼疾も一週にて全癒せしむ
在來の皮膚病藥は塗ると刺戟を起す割合に效能の尠かつたがデルマチカは刺戟もなく痛みもせず上記の病を退治する。本品創製者たる加藤史生氏が過去數年間實驗と研究を重ねた結果實に百餘萬の試み實に苦しむ者に試み實に驚くべき丹効を確認した多くの例は他に比類ない效能で如何に卓効あるかが判るであらう。
濕疹 いんきん 田虫 寄生虫性 汗疹 がんがさ 凍傷 擦過傷 切傷 なまづ 白癬 水むし
價一瓶廿五錢 內地送料（三個迄）八錢 全國有名の藥店にあり
發賣元 東京市本郷區東竹町三十七 富士新藥株式會社 振替東京一七一六四番

商況

東京期米特電

二十日後場

一節　二十六圓八十錢
二節　二十七圓丁度
三節　二十七圓十九錢
五節　二十三錢
六節　二十一錢
北の　二十一錢

兵庫期米特電

二十一日前場　二十七圓五十錢

大阪株式特電

休會

大阪三品特電

二十日後場

八月限　四〇六、九〇
九月限
十月限
十一月限
十二月限
一月限　四〇四、一〇

下關期米特電

未着

雜報

停止

●絲糸布手堅し　大阪三品は二十日前場當限四百十一圓二十錢先限四百二十圓十錢の移りなりしが後場は當限四百六十圓九十錢先限四百四十圓十錢と當安先高の成行きなりしも納値は三銘先物十三圓二十五錢と前日より五十五錢方引締まり三百五十五圓を持合ひ取引も警戒見送りとなれる爲め商内閑散を呈せり

●正米更に反騰　內地及び釜山仁川よりの高値買注文に刺戟されて昨朝來俄然緊張狀態を呈せし當正米市況は今朝に至り更に人氣は高まりて相場は日本種玄米三十三圓三十錢在米種三十二圓五十錢次品三十一圓七十五錢と十九日午後の安値より殆ど四圓近くの急反撥を演ずるに至れり沿線方面といひ釜山方面といひ近日幾分充の昂騰を觀じ再び全鮮中の割安場所となりし當地丈けに今回の反動も一段と急激に襲來せり一時は聞の澤に驚くべき人氣もかゝる模樣にて立直りさ各地より持米を賣るなさいふが如き事情にて此度大に鼻息荒く來りしもの如く賣物は又復影を潜め買附に困難の模樣なり殊に新期廻米の絶薄と折柄他所より買注文入込み今朝は現に仁川筋へ二百叺の手合ひ行はれたる等地場在米の漸減を氣遣はれつゝあるが眼先果して如何の成行きを見るかに至らば移出口の高値注文の絶ゆざる限り到底人氣の緩和する見込みあらざるべし此際政府の施設や民間の救濟事業を待つの外なし

●現狀の儘弱含み　……の商狀にて推移せんかと云ふ

●白米持合ひ　白米は內地及び其他より高値買注文續々入込み前約注文も捌け安値米の捕獲引受は既に折れたれば應じ兼ね新規注文も一時見送り向き歩調となり來れる爲め市中卸値は二十一日午後より三十七圓五十錢と一圓方引上げたる小賣値は何れに決定すべしと云ふ

●肉類高氣配　肉類は該例年相場の下落時期なるにも拘はらず內地よりは時々生牛の買注文絶えざる爲め肉相場も最近又方昂騰せる價格五六圓の斤當り約一二三錢方騰貴せり殊に鷄肉は今にも生牛市價の底勝に影響し品質も又次第に低下しつゝあり鷄肉豚肉は漸らく持合ひの小賣値は從前の通りにて變動なし

●煉乳持合ひ　煉乳は各製造元共に持合の狀況なるが賣買とも前より販賣店側に對し追加注文をなしつゝある模樣なるが販賣店は賣込みし其以來販賣高の三十錢方割安に賣應じつゝあり前期間中の値段は前建値通りの

各地商況

◎木浦米況（十九日）　內地精米商側は未だ尚に休業者多く何とも見當立たず入荷無く高地も從つて商見當立たず相場區々にて買入れは甲なれども買ものも無し三等玄米三十二圓位を唱ふるもの殆ど公平なるべく取引出來せず閑散なり

▲籾　雨天の爲め入荷少し本日は二十俵程の小口八圓七十錢にて取引出來せるが極上九圓迄の相場たるべしと思はる

◎大邱米況（二十日）　相場は急轉直下三十圓迄引落したる正米は其後人氣落ちると共に精米筋は移出筋共手持薄のため一齊買進みたるため氣配漸次に引緊りなり告げ居り本日は更に釜山方面より約の買注文頻繁を告げ市價は漸る手堅く一方當地精米口の買ある等市場漸騰一圓高の二十四圓迄引返し小口物も追々調談あり在米稀薄なれば日先商品騰の外なき形勢なり

釜山市場（二十日）

▲正米強硬　數日間に亘りての降雨にて産地に於ける穀物の積送困難を來しつゝある矢先きて當地への廻着は遅々たるを免れず且つ米の狀態なり當地買物さしては至極稀薄にして地場精米口よりの必需補充買にて他口よりは更に買氣添はず肝腎の精米口へは昨今内地より續々白米注文入り込みつゝある矢先持堪の事とて大小丈共販賣店側も之を見込みて建値より二三十錢方割安に賣應じつゝあり前期同

▲小麥商保合　仕向地麥粉安の爲め人氣一向引立たず雨天に出廻り薄手ら買望み手現はれず市況更に動かず無商內なるが相場は十七圓見當なり

市場雜觀

▲昨後場は中先共全部出來不引後兵庫氣電東京の成行は前場七節七圓三十九錢九節高七圓十五錢と急轉直下の成落し止りは更に五九錢の安引となりたり後場一節六圓八十錢迄より二節七圓丁度三節十九四節二十錢五節二十三錢と漸しく六節十一錢と押し止めは二十七圓八十六錢と退しつゝ猛烈な亂高下なりしが

▲桑名は前場

二十七圓八十六

白米標準値

三十六圓五十錢

糙米白米玄米大豆小豆
仁川米豆取引所仲買人
唐澤正次郎
仁川海岸町三丁目
電話長七十六五番
一〇一番

●各品一齊に二十錢方昂騰を來せり　……

●原料益々昂騰狀態　……

●綿上進の氣配　……相場は引き……

●鹽酸加里軟弱　鹽酸加里は一時不振の市狀にありて五十圓見當の弱保ちなりしが其後一二圓方小戻したるも目下尚不需期に屬すれば市價は依然軟弱なる模樣……

●內地製粉漸騰　製粉市況は數日前五圓ドタより四圓九十錢迄の安値に瓦落し一時は一圓安となり人氣頓に沈ち市況亦不勢なりしが……

●水飴昂騰す　……五十錢方騰貴し二十三圓に復歸せり

下關相場

朝鮮米……

▲肥料の現況　……

仁川正米

▲正米は內地注文入り込み來る……
高人氣を唱へ更に……

圓高……平均一

生魚市場

京城日丸市場……

仁川期米

▲二十日後場（新規賣買停止）

▲第一節　東京前寄二十七圓三十四錢……
▲二十一日前場（新規賣買停止）
寄付二十七圓五十錢……

東京前場

▲取締を切望す

十錢高

〇八錢方後場は七圓

又復買物輻湊し……

在米尚二萬餘叺

北濱だより

▲底固の保合

仁川米豆取引所仲買人
志　仲買店
電話二八二・長二八三番
電略（シ又ハ「カクシ」）

塚原卜傳

第百七十三席　悟道軒圓玉口演

卜傳先生も仲が勝つて面目を施しました、小才次は當賞の聲を後に引退がる、第二番目は東の幕より出でましたる羽賀井一心齋、此人は羽賀井流の劍法を能くいたします一尺八寸の小太刀を執つて立出でる、西の幕よりは穴澤流の薙刀の達人穴澤主殿頭盛秀、白木の薙刀を執つて立出でましたが双方聞ゆる名人、一禮して立向ふと一同ワツと聲を上げる、之れは定めし美事な勝負であらうと思ふから聲を掛けるので秘術を盡して打合ふ中、一心齋は主殿頭のために木劍で小手を挪はれて恐れ入つて引退がる、主殿頭は大した名譽を勸ち、如き賞賛の拍手に送られて退きました、第三番は東より名人の吉岡彌房左手を延ばして矢の眞中を掴んだ早業、實に目を驚かす有樣でございます、之れは吉岡の勝となる、五番目は東より柳生又左衛門宗嚴、西より寶藏院禪坊胤榮の兩人が出ました、其武名は天下に名高き兩名、當時南部に知れ渡つて居りまするから、ツといふ聲は場中に響き渡るかと思はれ諸人固唾を吞んで見て居る中之れは相打となつて勝負なしと定まり、兩人笑つて左右へ引取りました、六番は東より羽州上戸澤の住人諸賀一羽齋國虎、西より立出でましたるは戸田流劍法の鼻祖戸田靜翁兩人とも齡七十餘の老劍客であります、秀吉公

の幕より立出でたる一人大島流の槍術の指南番大島雲八郎、西の幕より立出でたるは尾州熱田の社家小笠原丹波守の弟小笠原源與齋八重垣流の小太刀をよく遣ひますだけは烈しく闘ひましたが源與齋遂に大島のために後れを取りましたさて四番目は東の幕張の中より矢を携へて靜かに立出でましたるは尾張藩洲の住人にして星野流の弓術を名譽にいたす星野勘三右衛門、西の幕張の中より進み出でましたるは京都代々今出川の住人なる吉岡又三郎重房であります三右衛門は滿月の如く引絞る、重房は小太刀を正眼に構へてピタリ付けた、人々此勝負如何ならんと見てある中兵と切つて放した星野の矢、羽音高く飛んで來たが、あはや重房射止められしかと思ふ中ヒラリ體を交はし素早く切つて落す、途端に又吐かせず飛んで來つた乙矢之れは大蠻の者なら避ける事は出來ないが固よ

の御前試合といふので互に絶妙の技倆を揮つて立會ひました、之れは烈しく打合ふのではなくて型を遣ひましたもの、されば勝負なしにて引分けとなり、兩人上座に向つて一禮なし左右へ立退きましたこの一番は若き人々の後學になりました大層なもの、諸公にも御感賞あり、それより劍術柔術槍術弓術、さまぐ〜の立會勝負あつて最後の一番は當日の眼目たる塚原卜傳と龜井の試合と相成る、ドン〳〵と打出す太鼓の音を合圖に東の幕を絞つて立出でましたるは塚原卜傳、茶色羽二重の小袖に藤黄革の袴を穿ち、一尺八寸枇杷

の木にて造りたる卜傳流の木太刀を持て場内中央に進み出でる、此方の西の幕を絞つて同じく立出でましたるはこれぞ兩國一の槍術の達人、龜井武藏守好明黒羽二重の小袖に暇染の革袴を穿ち、白鉢巻をなし二間柄の龜井流の木槍を携へ、靜かに其道具を伏せ叮重に一禮いたしまして、兩人上座へ向つて恭しく禮をいたし、向き直つて進みました、之れは立會前の禮儀であります、其儘立上がると左右に分かれ卜傳は件の槍を流々と引扱き素槍を掛け、ピタリと上段に付けた、卜傳は木劍を下段にの兩門を觀ふ、卜傳木劍を優一文字に構へてピタリと付けジリノ〜と詰寄りまする、ワツと一度に上げる諸人の聲は樂の節も崩れるばかり。

皮膚科
皮膚病
黴毒
淋病
膀胱病
生殖器
機能障碍
入院隨意（診察夜九時迄）
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目（元二ノ町）
佐藤醫院
電話一一七三番

牛乳
陸軍御用（病院用）
京城東四軒町
岡野牧場
電話一〇六九番

京城明治町一丁目
入院隨意
胃腸病院
電話一六五九番
院主　佐々木杏造

八月廿三日九星

……

富の道しるべ　價十五錢　郵稅二錢
山縣五十雄村上唯吉共著
京城太平通　振替京城三〇　京日代理部

秋蠶種
特價金六拾錢
送料弊社負擔
京城府龍山
東蠶社
長電話龍山六四一番
振替京城二一六二番

アセモ
タダレ
タイドク
靴ズレ等
皮膚の損傷を豫防治癒する
シッカロール
強き殺菌力と皮膚の形成促進の特能ある本劑に依り暑中の皮膚を保全せらるべし
全國各地藥店販賣
東京　和光堂　大阪

殖産銀行株
高價買受申候
（一口千株以上にても相談に應じ申候）
公債株式現物賣買
京城櫻井町壹丁目
新田耕市商店
電話長一五七〇番・一八八一番

新舊對照
朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽

司法大臣　松室致閣下題字
京城地方法院所屬辯護士　法學士　加古貞太郎先生序文
舊韓國財政顧問附財務官　小笠原寛先生序文
法政大學校友　關西大學校友　越智唯七編纂

大正七年一月一日現在正誤表附總クロース金文字入菊版千百五十頁定價金三圓郵稅十八錢本書は府郡廢合の整理と既に結了したる土地調査局の調査により確定したる朝鮮全道の行政區域の新舊を對照し錯綜混雜せる沿革を明にしたるものにして一目瞭然たる道、府、郡、島廳及面事務所の所在地を示し、末尾に朝鮮の沿革、日鮮、清、西歷との詳細なる對照年號を示し管區數、人口戸數、道路里數、各道の廣袤交通、產物名稱舊跡溫泉其他の概況を揭げ本書は官廳執務上を初め政治家實業家學者、交通、產業其他苟も朝鮮に關係を有し朝鮮に精通せむとする士の須臾も缺く可らざる必携書也

京城大平通一丁目
振替口座三〇〇番
京城日報社代理部

淋病新藥　ツヨール
故下山藥學博士、慶公藥學博士、遊明、田中醫學博士、宮川醫學士、加藤獨國醫學士、山田獨國醫學士等の實驗の結果理想的內服治淋劑と確定す
△本品は殺菌力を有し且つ絶對に胃腸を害せず膀胱カタル、尿道炎、前立腺炎、副睾丸炎、腎臟炎、淋毒性其他一般慢性、急性淋病に偉効を奏す
百粒入壹圓八拾錢　五十粒入九拾五錢　三十粒入六拾錢
●說明書無料贈呈
製造元　東京日本橋ツヨール商會△發賣元大阪道修町・田邊五兵衛振替大阪八六七番

石鹸使用の目的は
色白くなると言ふより垢ヌケした清潔美にあります
ウヅマキ石鹸
の主成分は一に清潔美、二に衛生美、三に白色美を具備し
石鹸製造上最も眞面目な工程を經たものです
東京横山町　天野源五郎

日本郵船出帆

◎大連、天津牛莊行
酒田丸　九月七日正午出帆
相模丸　八月廿八日正午出帆
×高砂丸
仁川海岸町一丁目（電話十番）　郵船回漕部

共同汽船出帆

大連直行（關東都督府命令船）
一共同丸　八月二十二日後入港
　　　　　八月二十三日前出港
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡取扱並に大連にて南滿洲鐵道會社阿波共同汽船株式會社
仁川代理店　本町四丁目（電話一七三番）野口商會
元山代理店　（電話二四七番）田口同漕店
京城取次店　南大門（電話二七六〇、八一二）河村運送店

朝鮮郵船出帆

天候船繰其他の都合に依り發着日時變更スル事アリ詳細ハ本社又ハ各地支店出張所代理店へ就テ御承知相成度シ
◉鎮南浦行　京城稀下關…經由
平壤丸　九月十日　元山發
越後丸　九月十日　元山發
◉浦汐行　大阪發門司釜山元山城津經由
越後丸　八月卅一日　釜山發
　　　　九月一日　元山發
◉雄基行　下關發釜山各港經由
雄基丸　八月廿三日　釜山發
成鏡丸　八月廿八日　釜山發
　　　　九月一日　元山發
◉元山雄基線　元山雄基間各港經由
三浦丸　八月三十日　元山發
◉金剛山遊覧便　元山長箭間（六月至十月五ヶ月間）
三浦丸　八月廿八日　元山發
◉大阪行　浦汐元山釜山經由
◉南鮮島行　釜山發麗水經由
江陵丸　八月廿七日　釜山發
◉濟州島行　西廻ハ木浦經由東廻ハ安島經由
公州丸　八月廿六日　木浦發
◉釜山浦項線　釜山發長生浦方魚津經由
◉金海線　釜山發鎭海經由
◉海州行　仁川發江華喬桐經由
南陽丸　毎日一回　仁川海州發
◉鎮南浦行　仁川發各港經由
◉木浦麗水線
順天丸　八月廿五日　木浦發
（以下三日目毎ニ木浦發）
◉多島海行　木浦發多島海各島行
慶尙丸　八月廿一日　木浦發
◉釜山麗水線
丘濟丸　毎日　麗水發
本社　京城南大門通　電話（一九五〇番・二三二一番）
釜山支店　元山支店　仁川支店　木浦代理店
朝鮮鐵道及滿鐵ト旅客連絡運送ノ便宜有
京城南大門驛前　松　運送店
其他各寄港地ニ取扱店あり

第五版

京城日報

奇怪なる代表機關

京城日報

無價値の政黨と越俎の新聞社會

吾人は今日に於ていよ〳〵政黨の無價値なるを感ぜざる能はず。政黨は國民（好し一部に過ぎずとするも）の意志を代表すと稱すと雖も、果して其自稱に適合するの言動を執りつゝありや。最近內地に勃發せる不祥事件の如き、彼等の或ものは口を極めて政府の當路を攻撃するも、さらば之に代ふるに如何なる政策を以てすべきかといふに至りては、口を緘して一も語る能はざるなり。凡そ他の施設考案に對して其の間隙を探り、瑕に非難を加ふることは、洵に易々たる沙汰にて、別段周到なる考慮と計較とを要せざるなり。然れども政黨は畢竟實行機關にして、其の言動は十分責任を帶ぶるを要す若し現在の政策にして其の宜を得ずとするならば、進みて之に代はるべき對案を提出せざるべからず單に揚足取を以て能事畢れりとする如きは、抑も幼稚千萬なり。さて近頃に於ける政黨の有樣如何と見るに、或るものは半ば政府加擔を以て目せらるゝにも拘らず。一旦事の急なるに臨みて、俄に首を縮めて、唯其の捲添を食はんことを是れ恐れ、動もすれば進み足を踏みて、拱手傍觀を事とせり。又或るものは政府に對して敵意を挾むの餘り、寧ろ不祥事の續發を喜び、手を拍つて笑ひ興じ、毫も國家社會の休戚を念頭に置かざるなり。後者の非國家的なるは固よりいふまでもなく、前者の怯懦なるも亦論外なり。所謂民意代表機關なるもの、之を以て其の機能を全うしたりと爲すや如何。更に少しく遡りて西伯利出兵に對するの態度を見るに、今日の際、何人か西伯利亞を以て獨墺俘虜の跳梁に委棄すべしといふものあらんや又之を米國に一任し、我が拱手傍觀を可とするものあらんや。政黨者流固より這般の事理を解せざるにあらざるも、或は現內閣に對するの反感を以て、國家の大計を沮止せんと圖り、或は一部の社會に狐媚せんがために、瞞然として反對の態度を執れり。蓋し彼等の中には、政權爭奪以外に何物の存するなく、其の言動は一に黨派の利害を本位とするを以て、政黨は國民の意志を代表すと稱すと雖も其實は兩者の距離次第に隔絕し、政黨の利害は國民の利害にあらず國民の休戚は政黨之を與知せず、名は公黨なれども、實は私黨に異ならず。吾人は之を斷じて言ふ、政黨は政權爭奪の利器にして民意代表といふが如きは僭越至極なり、況んや國家社會の休戚を論ふべきの機關たるに於てをや。

政黨と共に別に一個の國民の意志を代表すと稱するものあり、即ち新聞紙是なり。新聞紙の公共的機關たるは、吾人も亦之を承認す。然れども其の職責とする所は主として批評報道の上に在りて、實行施設は與る所にあらず。或種の政策若くは計畫に對し、其の事實を報道し、其の內容を剖析して、可否淑慝如何を計較商量し、若くは之に代るべき別個の計畫を提供するが如きは、固より自由なり。然れども一たび此の範圍を踰え、所謂筆を投じて戎軒を事とするが如きに至りては、遂に越俎の譏を免るゝ能はざるなり。然るに近時に於ける我邦の趨勢を見るに、新聞社會は動もすれば經濟批評の域を踰え、指を實行に染めんとするの傾向なきにあらず。彼の春秋會（東京に於る記者團）が興國に向つて僭越なる國際的電報を發したるが如き、又某々事件に對する記者集會に於いて屢實行委員なるものを設け、實際の運動に從事するが如き、いづれも其の範疇を踰越するものならずばあらず。新聞記者が個人として實際問題に奔走するは敢て咎むべきにあらずと雖も新聞社を代表し、新聞紙の勢力を背後に控へ、發成的に目的を達せんとするものあるに至りては、たとひ其の事の私を成すにあらずといふも、吾人は多くの弊害あるを見るも、國家のため社會のため些の利益あるを見ざるなり。實行的機關とも見るべき政黨が實行力を有せず、批評機關たる新聞社會が、自己の本分職責を忘れ、本來の藩籬を破りて他人の畑を掻廻さんとす、共に是れ社會の變態なり。而して渠等は傲然として國民意志の代表機關なりと叫ぶ、一は無價値にして、他は越俎踰閑を恣まゝにす、思へば所謂民意代表機關なるもの唯空恐ろしきものにあらざるなきを得んや。

兒童學の進步（十）

於朝鮮教育研究會　高島平三郎氏講演

亞米利加の或州では大酒を飲み先天的犯罪性を帶び犯罪許り繰返す者は、裁判官立會の上去勢して了ふ相である。或は又父母兩者の個性に缺陷は無くとも、難產で胎兒が苦しんで一部を切つたりすると、往々子供が發狂になる或は不正な情交に依て姙娠し墮胎劑を呑だりして、子供が死なずに生れて來た者は生長してから殺人をやつたり放火したりする背德狂になる事が往々ある。以上は個性成立の先天的要素であるが、個性の成立には父母兩樣の素質系統が重大な關係を及ぼし來るものであつて即ち先天的原因として遺傳期に於る系統遺傳と個體事情とがあり、胎兒期には胎育事情と出生事情とがあり是等に依て人々異なれる氣質となるのである。

次に後天的原因としては自然及び教化の兩因があり、自然の中には生資、器量、環境が最も關係を及ぼす。教化に在りては當然と偶然とがあり、當然の中には家庭、學校、社會の影響が働き、偶然の中には社交、經驗及び運命がある。運命は人の性格に關係を及ぼす事大なるもので、運命は人により、物により、天による。是等の諸因に由りて茲にキャラクター即ち性格が出來る。故に個性成立の由つて來る所は頗る複雜して居るのである。

さて其の個性は如何なる種類に分れるかと云ふに發動型と感受型とに大別され更に活動型、輕快型、感動型に分類される。活動型は善くいへば活潑で惡くいへば粗暴である。活動型は筋肉型ともいふ。輕快型は敏捷であるが、惡く言へば輕薄である。感動型は仁俠であるが激し易い。輕快型感動型を併せて又別に有機型とも言ふ。活動型の子供は大抵活潑であるから學校では體操の先生抔に好かれる性質である。『お前は將來軍人に成れる』抔と褒められる方である。輕快型は敏捷であるけれども輕躁に成り易い。此の種の子供は學校で先生が生徒に白墨を持つて來いと云ふとハイッと言うて走り出すが、さて何であつたか分らず、今先生は何と言つたんだなどゝ友達に尋ねたりする。併し敏捷であるから所に依ては大に長所を發揮する。此の性質の者は商人として成功する方である。感動型は仁俠で動き出すが惡くいふと物に激し易く、直ぐ怒つたり悲しんだりする。感受型には思考型と冷淡型とがある。思考型は物をぢつとして考へるであるから未だ慣れない學校の先生には良い感じを與へる事がある。何か話して聞かせると、此の種の子供は感心した樣な顏して聞いて居るから、先生は『乃公も大分教授が上手になつたんだな』と思ふたりする。別にさう感心して居る譯でもあるまいが性分だから仕方がない。以前私が學習院に教鞭を執つて居た時の事であるが或る日生徒に楠公子別れの話をした。話を終へて皆を教室外に出さうとしたに一人の生徒が眼を腫らして泣いて居る何故泣くのかと、聞くと正行が可愛相で仕方がないんです。さうか併し何百年前の事だから泣いたつて仕方が無い。早く遊びなさいとすかした事があつたが、其の生徒は全く感受型に屬する。今は海軍の將校になつてゐるが今以て物に感じ易い。之も性分で仕方がない。感受型の思考型は良く言へば愼重で、惡く言へば優柔である。彼のニュートンは偉い天才であるけれども、幼少の頃はドンキーと言はれて居つたと云ふ事である。ドンキーとは驢馬の事で馬鹿の意味である。

朝鮮鑛泉狀況（五）

▲椿溪里溫泉（咸南）　德源郡豐下面椿溪里即ち元山を距る二十一里平元街道馬轉里の南方九里德源郡西南部に位置し田餘にして南は江原道西は黃海道に接し東南北の三面は山を繞らし西面僅に開潤す附近は農業盛んなり溫泉は村落を距る七町の山麓に在り內地人一戶四人鮮人四十戶百六十餘人あり馬轉里の道迄は平元街道なるを以て車馬の通行自由なるも同地より溫泉場迄は道路幅員二間半山間を縫うて河川に沿ひ車馬の往來自在ならず浴槽は二箇所にて湯壺は何れも九尺角深さ五尺のもの二箇所宛を設け常に浴槽を交換する如く設備しあり內鮮人向各一箇所とす內鮮人向宿一戶あり客室五內地人及國人に對し一日一坪五錢にて貸付す鮮人向の宿屋なきを以て浴客は旅人宿又は知己に寄宿す泉質は食鹽性炭酸泉にして無色透明臭氣なく一千立方『センチメートル』中の總固形分の酸量は〇、六三七六グラムにして『クロールナトリウム』多量鹽化カリウム僅量重炭酸マグネシウム僅量炭酸カルシウム僅量硫酸少量を含有す婦人生殖器病及び胃腸病に效あり溫度攝氏五十乃至六十度にして一日の湧出約五十餘石浴客は主として鮮人にて內地人稀なり

▲湯子坪溫泉（咸北）　明川郡鶴上面松興里に位し松興里峰馬山峴の間に挾まり土地平坦なり湧出場所は馬山峴の麓海拔約五千尺、附近に新坪里、雨石村、湯子坪の三部落あり戶數七十三、人口四百八十五、旅人宿十三戶他は農家なり道路は葛坡川に沿ひて城津吉州間の國道に至る其の行程一里十町餘にして平坦なり城津港に至る道路は九尺の里道にして牛馬車の便あり此の里程三里三十町浴場の設備は一箇所なるも男女別に區劃し浴槽は長さ十一尺幅七尺にして石材を以て築し家屋は內地式にして構造完全なり泉質は硫黃泉にして溫度攝氏五十一度一日の湧出二千數百石附近の內鮮人は勿論咸南咸興端川、北青、咸北明川、吉州各地方より來り浴する者多し

▲朱乙溫泉（咸北）　鏡城邑の西南約三里半海拔約四千尺の地點に在り南北二面は山を繞らす、湯田部は通稱朱乙溫川に沿ひし一部落の中央數箇所とす所在地は內地人五戶二十餘人鮮人約百戶六百數十人を有し宿屋內地人三戶鮮人五戶各相當の設備あり道路は鏡城羅南其の他の地に通ずる幅員二間乃至二間半の道路あり各車馬の便あり浴場の設備は內地人の經營に係るもの平家建亞鉛葺及び板葺にして湯壺は何れもコンクリートにて築造し深さ二尺方六尺のもの二箇所、深さ一尺方六尺のもの二箇所、深さ二尺三寸方九尺のもの三箇所、深さ三尺方十尺のもの一箇所、深さ二尺縱十尺橫九尺のもの二箇所計十二箇所あり、鮮人經營の浴場は平家建板葺にして湯壺はコンクリートにて築造し深さ二尺方六尺のもの三箇所あり泉質はアルカリ性鹽類泉にして溫度攝氏五十六度一日の湧出量實に一萬二千石浴客は鏡城、羅南、清津地方の者多く主として病後の衰弱、皮膚病、リウマチス及び神經衰弱等の者多く又陸軍轉地療養地たるを以て羅南、會寧の衛戍病院より絕ず軍人患者の來浴あり（完）

並行線（六十）

瀧　閑村

『人の親になる』

此小くして而も新しい儼たる事實は二人の心を確と掴んだ、離れ〳〵になりかゝつた二人を捉へてグツと引戻した。

『醫者に診て貰つて、大事にしなけりや可けない』

宮太郎は衷心から心配でたまらぬやうに、斯う云つた。

『ね、お醫者樣でもまだ判らないかも知れないが……明日診て貰ひませう。』

おのぶは、宮太郎が斯うやさしい言葉を掛けてくれやうとは豫期しなかつた、豫期しない嬉しさに逆つた爲か、又涙が先に立つた。

『泣かなくたつていゝぢや無いか何も泣く事は無いぢや無いか。』

『ね、泣きやしませんよ。』

と云ひ乍ら、おのぶは猶盛んに泣入つてゐる。

『困るね、お前一人の事ぢや無いんだから、餘り亢奮しないやうにしないと……』

『大丈夫です、大丈夫です。』

十分ばかり經つて漸く涙を收めた。

『お前はどんな氣持がするね』

と宮太郎は洋燈に映し出された、おのぶの、青ざめた窶れた橫顏を見乍ら斯う云つた。

『どんな氣持つて別にまだ……。』

『それだつて、何か變つた氣持がするだらう』

と云つたが、宮太郎にも是と云つて具體的に示すことが出來なかつた。

二人は說明することの出來ない美妙な感情を胸に抱いて微笑した暫くして宮太郎は思ひ入つたやうに

『斯うなれば仕方が無い、私も何う云ふ方面にでも働かう、二人限で無くなることも其用意もしなければならないから。』

『お氣の毒ですが、どうかさうして下さいな、毎月の出入が定つて居ないと私も何だか心細くて、心配で困りますから。』

一寸怖さうに云つた。

寂しい夜風が二人を吹いた。空には銀河が仄白う流れてゐた。

××××××

宮太郎は久吾にも賴み、兄にも賴んで奉職の口を探したら、幸ひに鑛業試驗場に下級の技手の缺員が一人あつた、彼方へ依賴し此方へ履歷書を出したりして、約一月經つて漸く任命された。

『やあお行つて來るよ。』

と羽織袴で窮屈さうに出て行つた宮太郎は正午少し過ぎに歸つて來た。

『さう〳〵お役人になつたよ。』と笑ひ乍ら、袱紗包みを出した、おのぶは受取つて開ひて見ると

任命縣技手
但工業試驗場勤務

と云ふのと、モウ一枚俸給の、辭令であつた。

朱乙溫泉即景二首

東谷　持地六三郎

朱乙溫泉在咸鏡北道、距鏡城七里、溪山幽邃、溫泉清澈、頗似吾有馬匠、但交通不便、訪客少、想他日鐵道貫通則四方遊人接踵可知也

幽境愛泉靈沸新。烟霞籠嶺絕風塵。一幅溪山摩詰畫。畫欄人是畫中人。

蓄堂曰　王維爲南山畫始祖。其雲烟之妙不可言。畫中人三字下得確的。

雨後溪山暝色橫。靈泉一浴好呼觴。深宵人定四隣寂。臥聽蛙聲和水聲。

蓄堂曰　有此溪山、有此溫泉而後有此文章矣。

寄明石稻陰將軍敍任于臺灣次晴洲將軍韻　東谷　持地六三郎

決眥南溟群島連。等閒不許蟄龍眠。呼雲起雨知何處。萬里波濤渺接天。

蓄堂曰　鵬翼圖南、水擊九萬里、天下屬望、將軍豈不勉乎。

藤園兒玉將軍十三回忌辰追悼詞二首

大星隕地十三秋。銀漢沈沈天際流。風雨西來關塞暗。不看炳燿照中州。

其二

文勳武績且休論。髣髴音容今尚存。遺愛甘棠人不伐。炎南朔北綠陰繁。

蓄堂曰　國家有事、將帥無人、則不能奏大功、所以追慕不已也。

……に列記せる全部に於て之れを取……は同線所定の運賃表により其の徵收法は兩線とも其の發線に屬するものは現拂とし着線に屬するも……せるが左記貨物は特に承認を受くるにあらざれば取扱ひをなさずこと

一、生石灰其の他發火し易き物……のもの

……低廉にして着線の運賃及び料金其の他費用の保證たるに不充分……

▲……時局以來原棉の……は……來吾邦紡績事業の好成績の大半は實に此原棉漸騰による利得なりと謂ふも敢て過言にあらず

▲……大戰時局以來……の方と殆んど揚付なると戰後通貨膨脹の結果とは相俟つて當分は昂騰の趨勢を支持すべく然らさるも高……

▲地方時局以來吾邦紡績業の隆盛たる原因の他の一つは綿製品の海外輸出激增也

▲從つて戰後の吾邦紡績業の良否は……如何にありと云ふべし

▲大藏省發表の貿易月別表によれば大正五年の上半期と本年上半期との綿製品輸出數の比較を見るに大……九萬五千圓より二千三百五萬八千圓に其外に於ては二千四百五十七……萬圓より九千五百八十萬五千圓に各激增しつゝあり（東京）

本紙定價　一ケ月金七十五錢　參ケ月前金貳圓拾錢　六ケ月前金四圓拾錢　一ケ年前金八圓
廣告料金　五號十五字詰一行一圓　別號　……
發行兼編輯人　小川三之介　印刷人　奥山……
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　……　振替貯金口座京城二〇〇番

朝鮮銀行　第十八期決算公告（大正七年上半季）

貸借對照表

負債	
資本金	一〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
諸積立金	一、九〇三、〇〇〇・〇〇
銀行券發行高	六三、五一六、三〇七・五〇
仕拂手形振出高	八〇七、五一〇・〇〇
政府貸下金	一、二〇〇、〇〇〇・〇〇
諸預り金	一二四、九九八、七九〇・六五
仕拂爲替手形	一五三、八〇〇・三三
借入金	五、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
賣爲替	三五八、三八八・七二
他店ヨリ借	一、五〇七、〇二五・七四
松田銀行部ヨリ借	一二・二九
本支店未達勘定	三、〇三五、三一八・〇二
仕拂未濟配當金	二四、三六八・三五
前期繰越金	二九三、〇三二・一六
當期純益金	一、二五七、六八五・八二
合計	二一四、〇五五、三二九・四五

資產	
拂込未濟資本金	三〇、六〇〇、〇〇〇・〇〇
政府貸上金	七、五〇〇、〇〇〇・〇〇
定期貸	八、三七一、二六六・二六
通知貸	九、八四一、三五四・三一
當座貸越	一六、八九七、二〇八・八八
割引手形	九七、一一六、六二七・二七
荷爲替手形	六、七六四、五三一・九九
利付爲替手形	五、四〇七、九九七・〇一
別途貸付金	三二、五七〇、六三〇・二八
預ケ金	一、一一六、九一六・一〇
擔保金	一一九、八三二・八五
買爲替	一七、五九八、五六五・六一
公債及證券	一四、五一九、一八〇・五九
他店へ貸	八、三二一、六七三・二四
松田銀行部へ貸	一、一四一、四三三・二二
地所建物什器	三、二九三、一一七・二八
新築費	一五八、五九七・五九
外國貨幣	二八、四二六・七四
金銀有高	二、七七〇、八八二・八〇
合計	二一四、〇五五、三二九・四五

損益勘定

一金九百參拾六萬六千九百七圓六……　當期總益金
一金八百拾萬九千貳百貳拾……　當期總損金
差引
金百貳拾五萬七千六百八拾五圓八拾貳錢　當期純益金
外
金貳拾九萬參千參拾貳圓拾六錢　前期繰越金
合計金百五拾五萬七百拾七圓九拾八錢
內
金四拾萬圓　損失補塡準備金
金參拾萬圓　配當平均準備金
金參萬五千圓　役員賞與金及交際費
金貳拾壹萬九千四拾圓九錢　舊株配當金（年六分）
金七萬三千十三圓六十九錢　新株配當金（年六分）
金參拾五萬參千六拾……　後期繰越金

右之通ニ候也
大正七年八月

朝鮮銀行
總裁　美濃部俊吉
副總裁　嘉納德三郎
理事　三島太郎
理事　木村雄次
理事　大田三郎
理事　片山繁雄
監事　伊藤長次郎
監事　服部金太郎

前記各項ノ調査ヲ遂ケ其正確ナルコトヲ認ム

各種石鹸製造元
京城元町一丁目
生田組石鹸工場（電話龍山一二六番）

電鈴と乾電池
京城朝鮮銀行前　電話……
ヒオキ商會

實業之日本

紡績界前途と各會社の比較（瓊川生）
自働車界の混戰
……雨後筍生の自働車企業前途如何……
□安田善三郎氏の人の使ひ振り……栗原白嶺
□樺太富源神祭記……
□富世界物語（收入、人氣、各行業色々）……
□世界の風に當れ……新渡戶博士
□國民の彈力性……浮田和民
□勞働者の人格……
大に注目せよ　西比利の富源と開發法
天惠に富める墨西哥　前メキシコ公使……
銀行家に惚れられた男
學生へ年五千圓
生命の延長法
◆八月十日發行　一冊十八錢……東京……實業之日本社◆

石材採取販賣
採石場　高陽郡崇仁面城北里（東小門より三丁北へ入る）
販賣所　京城蓮池洞百八十八番地
土木建築請負業　丸三組　山本春彌　電話一六〇四番

婦人界　九月號
◎二千人の貯金を作る（加入者）（井上貞子）
◎好な夫と妻の態度（山崎）
◎婦人の持つてゐる力（寺田校長）
◎調法に造つた臺所（三角校長）
◎肥らない兒の手當（醫學博士……）
口繪　◎竹田宮妃殿下……
◎蟲の音（栗原玉葉）
◎儉約は何から始めるか（嘉悦孝子）
家庭寶書　料理の巻
特別附錄
◎呪ひの手…（大正の不如歸）
◎小學教師と嫁向き…（露華生）
◎離婚の交渉役…（佐藤順造）
◎病院でお產の經驗…（岩崎紀子）
◎人に知らせたき家事經濟（實話）
長篇小說　野菊　上　鶴山
九月號　定價貳拾五錢
東京有樂町　東京社　振替四千九百番

櫻岳　藤戶計太著
最新朝鮮地理
菊版クロース金文字入　八百五十頁　定價金二圓　郵稅十二錢
著者は地理研究に熱誠にして半島全道に殆んど足蹟を印し言語、風俗、慣習の調査をなせる朝鮮通にて曾て學生時代に支那富源楊子江を著し盛名嘖々たりしものありしが今回二回目の地理研究の結果を發表せり
一本書は大正二年十二月の道府郡行政區域の改正及び其後各道に於ける面洞里の廢合に依る最新の朝鮮地理書にして內容第一編全道に於て沿革、位置、境界、地勢、氣候、產物、人種、族別、民籍、戶口、言語、文字、風俗、宗教、教育、衣食住、行政、財政、經濟、產業、商業、交通を記し第二編各道に於て沿革、位置、地勢、交通、經濟、產業、商業、戶口、著名山河等を記し第三編各地七百餘ケ所に於て沿革位置、地勢、交通、商業、產物、戶口表、官公署、學校、會社、組合、町名、名所舊跡等を記し加ふるに實用的各種の參考表を以てせり
一本書は附錄としてアイウエオ別道府郡島面索引及內地、臺灣、關東州、樺太の地名表及五十音別目次を追加せり
一本書地名には朝鮮諺文を附し日本假名を以て音讀を附加し國語朝鮮語の連絡を知るに便し引いて字音の關係に依り內鮮關係の密接なるを明白ならしめたり
一本書は內鮮人を問はず官民を論ぜず朝鮮に於て公私諸般の事に從ふ士の最新最好の案內者たり指導書なり
一本書は各種學校各官衙各銀行各會社に最も關係ある著名地の必要なる各般の事項を蒐集して各種學校、講習會の良參考書なり
一本書は緊要事項を得て取捨宜きに適し讀者をして一過直に了解せしむ島各方面の事情を遺漏なく通曉せしめ行政に商工業に金融經濟に運輸交通に便ならしめたり
一本書は朝鮮を經營し又旅行せんとするものの爲めに充分なる調査研究資料を供し事業計畫實行に當り最良の指針たり又旅行探險者をして安全なる進行をなさしめ薄冰を踏むの危險なからしめたり
一本書は名山麗水名所古蹟に關する詳細なる調査資料を供し遊覽者の探勝歷史家の探究に便せり
一本書は資材正確周到にして序次懇切を極め讀者をして多趣ならしむることを注意せり誠に空前の好著なりとす
詩文を各所に配在し朝鮮事情に精通せんとする有志者は速に本書を購求して左右に備へられんことを望む
發行所　京城太平通二丁目　振替京城二〇〇番　京城日報代理部
取次所　大阪屋號　日韓書房

◇西伯利經濟援助委員會に於て

―寺内首相の挨拶

寺内首相は廿一日正午官邸に於て西伯利經濟援助委員會に對し一場の挨拶を爲せるが其要左の如し（東京特電）

露國政變以來西伯利の施政荒廢秩序紊亂は延いて物資缺乏產業萎靡通商の杜絶となり露人の窮狀同情に堪へず人道の見地より隣邦友誼の上より見るも此窮境を援助するは帝國當然の責務なり本會は此目的の爲め斯道練達の士を選び機宜を逸せず經濟的援助を爲さん事を期す宜しく英、米、佛等列國と提携し日、露兩國民の感情を融合し相互の利益を增進し援助の趣旨を徹底せしめん事を望む

◇チ軍謝禮使來朝

チエック軍謝禮使として來朝せるスパチエクー、ハツチエス兩大佐は廿日午後一時五十分東京驛着の同行者等と共に帝國ホテルに入れるが來朝の目的は日本政府及び國民の深甚なる同情に對し謝意を表すると共に西伯利にあるチエック、スロヴアツク族の食糧軍需品被服等の缺乏補給の爲め日本の援助を請ふ筈にて寺内首相後藤外相等をも訪問す可く約一週間滯在の上米國華盛頓に赴く筈なりと（東京特電）

◇イルクツク占領

チエック、スロヴアック軍は西伯利國民軍の援助に依りイルクツクを占領せり（哈爾賓電）

◇總統選擧と徐氏

馮總統退職後の時局收拾意見

大總統選擧は九月中旬なる可く徐世昌氏の當選す可きは見込みも殆んど一致せるが徐氏の希望は出來得可くば南北一致の推擧を得て已むを得ず就職に就くと言ふ趣きし是により南北統一の端緒を開き斯くて衆望を一身に集めん意嚮なるが如く馮總統の退職後に於ける時局收拾意見も是れに接近し居れば徐氏の總統當選こそ南北統一に大いに援助を與ふる事となる可し（北京特電）

◇獨損害六百萬人

或も信ずべき筋より出たる報道に依れば戰爭開始以來七月迄の獨軍戰死負傷行方不明六百萬、兵役召集一千百萬にて兵力の半分を失へるなり最近ルーデンドルフが部下の將官に發したる命令は以上の事實を證明せり即ち甚しく密集隊形を以てする從來の我攻擊法を避け各方面に於て損失を減少せしむるは絕對必要なりと（巴里電報）

◇兩黨首歸京

犬養國民黨總理加藤憲政會總裁は二十日歸京せり（東京特電）

◇瓜哇砂糖價格

廿日大電に據れば瓜哇にては今回砂糖新トラスト成立し最低價格を白双を七ギルター二十五に、中双を六ギールター二十五に黄双を六ギルターと決定せり（大阪電）

大阪より

▲銅價持合　銅價は米國公定價の豫想見越にて一般商議の居りしが廿六仙据置は幾分氣組緩慢となれるが据置期間は十一月一日迄なれば僅に二箇月半に過ぎざれば安値は依然賣應ぜず又鱗軍の浦鹽出征は近く對露商談の復活を見るやも知れずと旁々氣配堅く商狀なりと

▲神戸の廉賣開始　兵庫縣にては當局の寄附申込意外の多數に達し既に九十萬圓を超えたるが之が使途に關し種々協議の結果十四日夜來市内三箇所の精米所に於て內地米を精米せしめ十五日朝取敢ず神戸市の開設せる十八箇所の外米廉賣所に附し一升卅五錢にて賣出さしめたるが市役所は前記の箇所にて一日外國米五百石内地米五百石を賣渡すべきを以て之として は市中在米十二萬俵を恐く價にて買上げ市内十箇所の米店を指定し同じく一升三十五錢にて賣渡さしむるに決し直ちに米穀組合長を招き其旨を傳へたり

◎浦鹽市會前途

▲過激派優勢　浦鹽市會は[illegible]ひつゝある確實なる情報に據れば選擧其ものは正當適法に擧行せられたるものなりと從つて新市會の[illegible]なる市會に改造せしめんと焦慮し[illegible]府に取り大打擊なるより目下兵力干渉を市會に加へて同政府に有利[illegible]

▲領事團の態度　又一方遵奉すべきや否や疑問なりと[illegible]に於ては在浦鹽の聯合國領事團は[illegible]

心勢力が過激派一味の者のみとならば今後の交渉上頗る不便を感ずるのみならずチエ軍を援助して過激派の勢力[illegible]

◎朝鮮と簡易生命保險（四）

强制的貯金制度の必要（承前）

然るに之を内地に就て見るにこゝ十回類の年數を通見し能はざるも大正四年中山國及び地方廳を以て救恤したるもの、内死亡したる者にして朝鮮の行旅死亡者と稱せられ得べきものを取調べたるに千四百四十一人にして之を人口五千六百萬人に比例することは百萬人に付て二十六人の割合なり、更に又貧困者

▲施療の狀況　に付て見るに大正五年中朝鮮各道慈惠醫院に於て施療したる患者は十三萬七千人にして之を人口に比例することは百萬人に付て八千三百八十九人を示し又内地にありては是さ[illegible]の種類の統計數を見る能はざれども大正四年中に於て國庫及び地方費を以て救濟したる患者は一萬千八百人にして之を人口に比例することは百萬人に付いて二百十二人なり、此の計數に就て見ることは行旅死亡者に於て朝鮮は内地の五倍强、施療患者に於ては實に約四十倍の多數を示すの狀態に在るを以て此の一事を以てしても相當の豫防的方法を講じ以て彼等の將來を救濟すると同時に

▲現在を救恤　せざるべからざるものと思料す、現在朝鮮人の郵便貯金は前叙の如く二百十七萬六千圓を有す、之を預人一人に就て見るに僅に二圓十八錢に過ぎず民間貯金の狀況は前述の如く鮮人のみに對する調査無きを以て隨つて其の一人當り幾何の預金を有するや瞭ならざれども單に郵便貯金のみに就て考ふることは以上の僅少なる貯金を以て疾病老後不測の災殃に資し能はざるや言ふを俟たず、殊に預金は其郵便貯金たると將又銀行預金たるとを問はず普通其拂戻し隨意なるを以て動もすれば折角貯蓄せしものをも消費するの虞なしとせず、試に大正二年末の鮮人郵便貯金現在高に對し拂戻しの割合を取調べたるに實に十七割四分を示し之を内地の七割六分滿洲の十割九分臺灣の十三割五分に比較すれば如何に鮮人貯金の拂戻額多きかを察知し得べし

▲容易に拂戾　を爲し之を又民間貯金に就ては遺憾ながら其拂戻の狀況を知る能はざるも要するに其等の預金を拂ふには徐々貯金の必要[illegible]に於て豫防的[illegible]風を涵養すべきは勿論一面に於て其の貯蓄を存せる現在に於て豫防的方法を講ぜざるべからず、而して此豫防的方法を講ずるの最も適切なる策は一種の强制的制度となし

▲强制的貯金　制度こそ是を包含する細民適合の簡易生命保險制度に如くはなし故に此制度を朝鮮に普及し以て斯の危險を豫防するは朝鮮の現狀に照し果して必要に非ざる乎。

◎在西伯利邦人

八月十六日調べ西伯利現在留本邦人左の如し

△浦鹽　約四千（七月下旬）△ニコリスク二百九十五名△リスドリノエ十名内外△スパスコエ廿名内外△スタンチアムラヴイエフ、アムルスキー十名内外△イマン廿九名△ヴヰキン六名△ウイアゼムス、スカヤ九名△ハバロフスク五百名△ブラゴエチンスク三百名△アレキセーフスク三名△ブオンショカセヤ五十名△ダンブーキ四十五名△チエルニア十名内外△ルフオルロフ二名△チルチンスク二名△ストレーチエンスク△スレーテエンスク約七十名△ガルヴイツア及ウスチオ方面十七名△チタ九十名△ダウトア十名内外△ウエルフチウヂンスク數名△トロイツヌサイスク七名△買賣城及恰克圖十名△イルクツク卅五名△イルクツク以西無△ジアリンタ十名内外△アレキサンドロフスキーポスト（樺太）十名内外△其他不明

◎朝鮮在米調査（八）

及び新米出廻迄の過不足見込量

▲本社に對する各府郡の回答目

▲咸安郡（慶南）在米十五百石新米出廻り期迄過不足なし

▲旌善郡（江原）在米約百五十石新米出廻り期迄不足約二百五十石

▲陜川郡（慶北）在米三千五百四十六石剩餘三百石

▲星州郡（同北）在米七千百石新米出廻り期迄剩餘五百石

▲昌原郡（慶南）在米七百三十八石新米出廻り期迄過不足なし

▲成川郡（平南）在米三十石新米出廻り期迄不足百三十石

▲江東郡（平南）在米六百九十三石新米出廻り期迄剩餘四百石

▲春川郡（江原）在米四千五百石新米出廻り期迄不足五百石

▲濟州島（全南）在米五百石新米出廻り期迄不足七百石

▲横城郡（江原）在米一萬石新米出廻り期迄剩餘六百二十五石但目下京城方面に移出のものあれば或は不足を告ぐるやも知れず

▲洪城郡（忠南）在米五千石新米出廻り期迄麥作の豐作ありたれば不足なし

▲慶州郡（全北）在米四千石新米出廻り期迄不足約二千石の見込なるも大小麥其他雜穀あれば不足なし

▲江西郡（平南）在米四千二百五十石新米出廻り期まで過不足なし

▲新溪郡（黃海）在米千五百石新米出廻り期迄過不足なし

◎哈市水道調査了

關屋課長歸京

哈爾賓上下水道の施工に付東拓より特派されたる土木課長關屋忠正氏は豫定の如く實査を終りたるに付來る二十七八日頃までには歸京の豫定なる旨東拓支店に通知ありたりと

◎京城組合銀行業績

京城九組合銀行八月上半月に於ける成績を見るに預金總計四千二百八十一萬百五十二圓貸出金總計四千七百七十五萬四千九百五十二圓にして之を前月末現在に比し預金に於て百五十八萬八千三百四十八圓を減少し貸出に於て百三十八萬七千五百四十六圓を增加せり

▲預金	定期預金	九、三六二、三一三
	當座預金	六、三〇七、四〇〇
	特別當座	五、二九二、九八九
	諸預金	二、八四七、四五
	合計	四、八一〇、一五二
▲貸出金	貸附	二〇、八二四、七三六
	當座貸越	三、九一一、六七七
	割引手形	二、七〇七、三〇
	荷爲替手形	三、二一一、六〇
	合計	四七、七五四、九五一

◎元山築港經過

元山築港工事は本月十五日を以て起工滿三箇年を數へ總工事の約六分の進捗を見たるが昨今に於ける同工事の概況を聞くに

▲南塊工事　は殆んど大部分を終了し殘りの函塊僅かに六個にして其五個は本月末又は來月初旬迄に工事を了し誰水を見るに至るべく他の一個は來月下旬

▲防波堤工事　捨石の大體は之を了し長さ約六十五間の竣成を見たるが時局の關係上セメントの到着遲延せしため目下竣工手間取るやも知れず豫定は僅かに五十間となりたれり

▲埋立工事　一般より浚渫船の入りて浚渫工事を開始せる[illegible]り修繕を終了し毎日百數十坪を埋立しも捗々しからざりしが今月上旬よりは全部を終了し毎日百數十坪の浚渫をなし居れり

◎貨物連絡輸送

本月十一日より大阪商船及び朝鮮郵船を介して淸津及び元山停車場經由淸會線各驛と其の他の朝鮮鐵道各驛との相互間大貨物連絡運送取扱ひ開始せられたるが之に依りて從來北鮮の一隅に遠隔し全く孤立の狀態を呈したる淸會間五十九哩の鐵道も愈々西南鮮一千哩の鐵道と連絡接合せられ將來の利便少からざるものあるべし（淸津）

◎鑛業登錄（自八月十二日至同十三日）

▲鑛業權設定

金銀銅鑛　全羅南道麗水郡突山面三十萬八千二百坪　近平竹次郎、太田秀子

鐵鑛　慶尚北道盈德郡柄谷面江原邱府[illegible]部海面九萬六千八十三坪　橋本定吉、坪井勝太郎、阿部信吉郎

タングステン鑛　平安北道昌[illegible]郡北洲面四十萬七千三百坪　山口恒太

金銀銅鑛　江原道三陟郡蘆谷面九十八萬七千十四坪　森島治

金銀鑛　咸鏡南道永興郡鎭坪面三十四萬十千六百九十八坪　早田勝之介、庄司太郎、西村泰藏

銅　黃海道長淵郡遊面　[illegible]六十二萬七千六百七十三坪　金鶴瓊、方中日

▲鑛業權變更

水鉛鑛　慶尚北道慶州郡内東面區域面積を二十萬三千四百六十坪に減區す

▲鑛業權表示更正

金鑛　忠淸南道瑞山郡近興面鑛種名を金銀鋼と更正す

◎師團長初登廳

新任第十九師團長高島友武中將は廿一日午前九時羅南師團司令部に初登廳各部長よりの報告を受けたり

◎咸北本年作況

咸北道本年の作況は久しき霖雨の傷め一時は大いに悲觀されたるも八月に入りて天候順調となりしより作物も大いに恢復しさして悲觀を要せざるに至り粟の如き一時は絕望の姿なりしも之亦相當の收穫あるべく其他麥は既に收穫せるが平年作に及ぶべく稗は生育良好豆類馬鈴薯亦樂觀して可なる狀況なり（淸津）

◎城津港防波堤工事

城津港防波堤は近來河川より流出する土砂に埋められて船舶の出入繫留にさへ不便を來し居りしが今回元山土木局出張所に於て古川爾松に指名して浚渫工事を請負はしめたるが請負金九千三百圓にて區域は防波堤内六百坪から干潮面より四尺宛浚渫し此外防波堤に二百六十六坪の捨石を爲すべく着手は八月十三日よりにて十二月十二日が竣工期日なりと（淸津）

◎職工減少影響

夏期職工能力減退の爲に際し各工場生産力の減少は毎年の例なるが本年は米價暴騰の爲め歸鄕する女工著しく增加し其の影響少からず一方新設或は擴張の各社多きが爲め此方面の需要增加せると共に職工の缺乏を感ずること益々甚だしく新設會社は熟練の職工を要する關係上既設會社の職工を高給を以て買收する事となり此方面に一般紡績業が起りたる十餘の新設會社の如きは部下の熟練職工の多數を買收せられ少なからざる影響を被りし由にて斯る例は生絲工場の綿布生地より紡績工場に波及し職工爭奪の結果影響を被りし會社の多數の職工を以て開業したるに至り全く常時の疾む爲めの自然職工の爭奪を高め會社の如きは採算上引合はざるも大に熟練職工を買收に力め居る狀況に

◎ポンプ活況

近時工業界の振興は益々原動力を要求するに至り從つてポンプの需要愈々增大しポンプの需要如何は以て工業の消長を示すバロメーターたらんとす而して昨年は船舶に關するものの最も需要多かりしが近頃は主として炭礦方面の注文繁くなれりと

◎カタン絲昂騰

カタン絲は英國に於ける原絲高と供給不足の爲め品薄を感ずるに至れると同時に國產品として需要益々增大したる爲め大阪を初め當地產原絲を以て此に至れり尤も内地產は細り得べき手するも質に於て大いに劣るが故に一般の需要に應ずるを得ざるなりと

◎鷄卵相場無見當

前日來土用の込にて產卵數減少し鷄卵相場騰貴を示せし折柄、賣行激増となり各地よりは先約註文殺到の込み各問屋筋は何れも在品の捌き方に困惑し居れり從つて當時は姿許無[illegible]當にて產地買註文も[illegible]へをしつゝあり（大阪支局）

前して之が爲めに生ずる缺損は寄附金を以て補ふべきも這は全く一時の應急策にして數日間實施の後根本的に米供給方法を講ずる筈なりと

◎平壤兵器所長來訪

陸軍平壤兵器製造所長は廿一日午前司令部を訪問陸軍建築要務に關する件の申告をなしたり

人事消息

▲谷川作太郎氏（東拓鄉鎭理事）廿一日夜入京巴城館へ

▲赤木萬二氏（京城中學校長）廿一日南京平壤へ

▲中一郎氏（東京實業家）同上

▲安藤孫氏（朝鮮人蔘株式會社重役）同上中の處廿一日朝歸京

▲武内勝夫氏（東亞通商洋行支店長）同上朝鮮ホテルへ

▲平田徹次郎氏（前兵大尉）二十日夜入京不如火へ

鳥瞰雜俎

▲獨逸大使も英國科を引くに至る[illegible]は獨逸派代表者が任休を去つたの[illegible]は獨露の間に事實上の斷[illegible]を示す[illegible]のではあるまいか▲獨軍が露都に進行中とも傳へられ獨軍がヴィテブスクやスモーレンスクを占領したなどは此の間の一部を傳ふるものではあるまいか▲獨逸の兒が漸く其の力が衰へたものか大[illegible]本營では要領を得ない際だらうか▲今では獨墺帝の協議が纏つて講和が成立するか否かは疑問である▲獨逸は未だ講和の假面を被つて居るが最後の欺瞞を試みんとする者があるのか何うか▲大隈侯は相變らず大に吹き飛ばして居る▲老年は大隈と八郎の生の時に生れたんである▲一體隱居は年に生れた人間は不平不滿を平和から受けてゐるから從つて議論家が多いんださうだ▲今年生れる子供にも議論家が多い事だらうか▲大隈式の理論を吹いて居るが何うだらう▲其の年に生れた人間には卿次郎も多くは出來まいか▲して見ると四五十年後の日本には大隈侯の樣な議論家も出來る事だらう▲目下米騷動をやつて居る眞最中支那には米が有り餘つて居るさうだ▲支那は消山しい樣な氣もする▲處が支那に江蘇省などには現に二百萬石も剩つて其の處分に困つて居るので商務總會などは其の輸出解禁を政府に請願したとか▲此奴を此方へ貫へば何の事はない日支親善は斯ういふ處へも使用して貰ひたいものだ

◎近海運輸減少

大連港を中心として近海航路は[illegible]の各航線は本邦豫想外の運輸状況[illegible]なれと近來海運界の好調に連れて小形船舶の激增現れ近海の運賃は多く是れによつて[illegible]

◇各地の白米

▲[illegible]二十一日小賣相場[illegible]一等三十五錢二十錢より[illegible]

懸賞募集規定

▲用紙は[illegible]は匿名の外に住所氏名明記の事▲一等は五十錢賣品券を贈す▲[illegible]

法人登記

平康地方金融組合登記事項中左ノ通リ變更ス

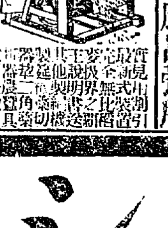
江原道平康郡平康面東邊里參百拾九番地 理事谷口盛一解任シ同日左記ノ者理事ニ任命シタリ

大正七年八月五日 谷口原 福一 房雄

右大正七年八月拾九日登記ス

京城地方法院平康出張所

稻麥扱



最新式實用製品特許福音農具割引説明書進呈 東京本所長崎町吉田本製作所

各株式現物賣買

最も輕便にて利益ある方法にて趣味に富たる[illegible]

大連市[illegible]滿鮮[illegible]證券信託株式會社

京城府明治町二滿鮮證券信託京城支部 同出張所 仁川宮町

漬物問屋

大阪市南區[illegible]橋 森内商店 電話[illegible]三〇二七 振替大阪三四〇三

鐵道局拂下品販賣

夏冬用 絨服小倉服 洋服

軍隊拂下品一式

和洋古衣服類一式

新調洋服類

多少に不拘御用命被下度候

龍山元町二丁目 電話一〇五番 金子商店 官衙拂下品商

最新刊

書名	著者	定價
國歌大觀	松下・渡邊共編	一五・〇〇
鮮語の先生	京城寬勳洞	一・二〇
遞信地圖	大正七年	

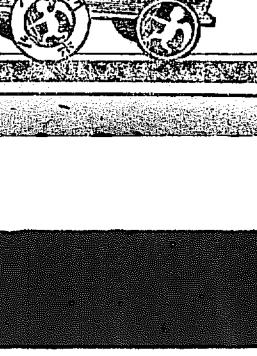
大阪屋號 京城本町 振替京城二五七番

ホシ胃腸藥

炎暑到來（胃の用心）

胃腸が常に强健でさへあるなれば少し位食べ過ぎたり飲み過ぎたり又は過つて不良の飲食物や惡い病原が附着せるものを食したりなどしても大概は何の障害も起らずに濟むのである。然るに之れと反對に胃腸が弱つて居れば少の原因でも消化不良に陷つたり又は激烈しき中毒症を起したり傳染病に罹つたりして遂に一命にも係る樣になる。殊に夏は暑さの爲に胃の筋肉が弛んで働きが鈍くなり身体が倦怠、一般に衰弱を來すから此弱り目に附け込んで色々の黴菌が侵入し遂には赤痢やチブス、コレラ等に侵され易い。

斯の如く夏は一年中で一番胃腸の危險な時である。されば平常胃の弱き人は尙更の事、健康者も注意して每食後必ずホシ胃腸藥を服用して常に健全なる胃腸を保たるべし



金で買はれぬ丈夫な胃腸は

ホシ胃腸藥 常用者の特有品

かゝる時試み給へ

俗に云ふ胃病

卽ち	其他
慢性胃加答兒	食もたれの時
消化不良	胸焼悪心の時
溜飲等に	惡酔宿酔の時
	飲過食過の時
良く効く	最も良し

定價
二十錢
五十錢
一圓

東京京橋南傳馬町

星製藥株式會社

…に關する現市長アガレフ…近在中の有產階級者の一部が投票…漫醒し當然過激派系の新市長を迎…せざりしを理由とし選擧の無效を…ふる事となるべきが逆れ西伯利政…中には俗にホルワット政府に通ずる者あり爲に軍隊は內部に動搖を來たし果して西伯利政府の命令を…で取扱ひつゝありしを以て若し…近行はれたる改選の結果過激派優勢を占むるに伴なひ市長以下の中…なる態度に出づべきかは興味ある問題なり唯市長改選の結果が如何…府の安寧成するに至るやも知れ…の傾向を現はし來れり尤も當港…一の物產たる大豆高粱の價格が…み出しに不利なりし原因にもよる…にて…出…し上…同…きも少量の高粱と若力百…九十人を搭載せしに過ぎず

◇池のほとり

○極東の敵兵力
獨墺俘虜が大部を占む
北滿人民の我出兵歡迎

…方面に六萬一千ある、決して侮るべからざる兵力であることは消息通の談である
浦鹽に上陸した我軍隊は大いに好感を以て迎へられてゐる、又北滿の一般人民も同樣甚だ好意を持つてゐる殊に在留日本人は云ふ迄もない露國有識者間に於ても大いに喜ばれ

◇支那人の態度も著しく良好になつた、陸軍省の公表するところに依ると我諜報部の諜報はチエック軍救援の爲め長驅浦拉斯托克に到着したと云ふことであるが一說浦鹽東にはその位の敵兵が居るか先づ沿海州黑龍州方面を見ると此方面の兵力は合計一萬六七千、其の內(一)黑龍州方面に約五千を數ふるが獨墺軍が二千を占め飛行機、裝甲自動車、裝甲自動車、砲艦各二を有してゐる(二)ハバロウスク附近に約一萬(三)ニコラエフスク附近に約九百之は砲艦一隻を有してゐるが更に五百が派遣される模樣がある(四)ブラゴエチエンスク附近は沿海州方面に對する策源地とでも云ふべき觀があつて兵力の異動が屢々で一定しないが約千人位はゐる又後貝加爾方面は合計一萬八千で內(一)ダウリヤ及び

◇露支國境附近に約六千、其內に飛行機二臺を有する獨墺軍が二千ある(二)チタ附近に約三千(三)ウエルフネウヂンスク附近に約九千、其大部分は獨墺軍で(四)イルクーツク附近に約百五十居る、猶ほ後貝加爾方面チタ、ウエルフネ附近には次第に依つては武裝し得る素質を有つてゐるものが約一萬六千あり

◇獨墺俘虜を數へると沿黑龍州方面に約三千五百、後貝…

○暴行者は嚴罰する
松室法相の決心

司法省に於ては今回の騷擾につき當該地方檢事正よりの報告により犯罪起訴方針につき調査中であるが右につき松室法相は曰く今回の騷擾の動機は諸物價殊に米價の暴騰により

▲營生困難に陷りたるに基因すると明かにして洵に憂慮に堪へず當局は極力其調節に努めつゝあるを以て一般民衆に於ては溯つて過激の行動に出づるが如きは全然之を避けんことを希望して止まず而して徒らに

▲騷擾行を事とし家宅に侵入し之を破壞し他人を害し若くは掠奪し又は放火を爲すが如きは最早救濟を求むる爲めの行動にあらずして社會の秩序を紊亂すること甚だしく寔に憂ふべき

▲良民の害 し彌々民救濟を妨ぐるものなるを以て此の如きは嚴重に處罰する方針也(東京)

○一家族生埋め
春川の水害

十五日の豪雨にて江原道一帶は十八日に至る迄各所の交通全く杜絕し唯一の通信機關たる昨年架設されし電信電話不通となり春川郡南面の鮮人一家の如きは山崩れの爲め一家族四名共生き埋となり慘死し又家屋倒潰の爲め一老人は下敷となり辛うじて首のみを出して救助を求め他の三人の子供は手の…み出して壓死し居たるを漸く掘り出して屍體を橫へ置きしも復又豪雨の爲何處にか流され屍體不明となりたる等の慘狀を呈せり京城方面の郵便物は今日まで四日間延着し目下電信工夫は電線修理の爲活動し居れり(十八日春川通信)

○二千石賣渡し
契約成る

下關市役所より白米買入れの爲め見島、前田の二氏來釜鮮米組合と商中なりしが二十一日石四十一圓五十錢替にて釜山沖船渡し二千石の契約成立せり市場正米は右の切れ居たりと(釜山)

○少年溺死

城津警察署部長西田清一氏の男清次(十三)は本月十四日午前十一時頃數名の子供と共に港內なる傳馬船に乘り岸邊の淺瀨に遊び居る際如何なる拍子にや海中に落込たるが其の刹那強度の痙攣を起したるものか浅瀨なりしに係はらず浮上らず他の子供の急報に依り人々駈付たる時は既に事切れ居たりと(淸津)

○炭坑地不穩
未然に防ぐ

福岡縣直方飯塚方面の炭坑不穩の形勢ありしも小倉より軍隊を急派し暴動を未然に豫防せり(福岡電報)

○大阪鐵工所
職工の憤り

大阪鐵工所因之島工場職工連は幹部の豪奢を見て幹部の豪奢を憤り殺氣立ち不穩の形勢あるより進水式の園遊會を中止せり(大阪特電)

○弟に重傷を負はす

大阪北濱仲買汐見久吉(三五)の實弟町中彥政(三二)は兄久吉が汐見家の養子となり先代病死し後繁昌と成しより屢々無心を吹きかけ廿日夜も亦金借に押し寄けたるが久吉が聞き入れぬより口論格鬪となり久吉は終に堪へ切れず彥政に重傷を負はせたる爲目下其の筋にて取調中(大阪特電)

如き內地よりの買註文の爲め手堅く一石卅六圓を唱へ居れり(釜山)

○飛行郵便に反對
日本俱樂部が烽火を揚げた

民間飛行家を以て組織して居る日本俱樂部は軍事上危險だと云ふのが其理由

米人飛行家バタアソン氏が近く東京大阪間に於て郵便飛行を爲さんとする矢先日本飛行家を以て組織した日本飛行俱樂部は猛烈なる反對の烽火を揚げて是非共之を中止させると敦圍いて居るが右につきその一人なる立花了觀氏は斯う語つて居る『目下

▲我が國は國運を賭して大戰に參加して居る時であるから苟くも軍事に關する總ての事は官民共に祕密を守ると云ふ事は國民の義務である、然るに殊に外人を呼んで恣に我空中を飛行せしむるごときは頗る危險な話であるから我々は是非共飛行郵便に反對せねばならぬ

▲目的を貫徹しやうとして居るのである、由來日本のやうな橫に狹い島國にあつては屢々云ふ如く二千七八百米突の高空に昇れば太平洋と日本海に挾まれた山嶽、河川、都邑悉く箱庭のやうに指點せられ、國防上最も秘密を要する要塞地帶なども其眞上を飛翔せずして明瞭に觀望し又撮影し得るのである、氣流の秘密でも必ず他外人の

▲窺知を防がなくてはならない、即ち戰前に於て獨乙は嚴重に國境の飛行を取締り往々機體の故障を口實にして他國の領土に著陸した如き事實は皆氣流及び地形を探らんが爲の手段であつた、現在米國の如きも飛行學校の敷地內以外は餘り外人の飛行を許さない、布哇、比律賓パナマ運河の地帶などは米人と雖も飛行を許可せぬ規定が有る、我國は幸か不幸か未だ

▲空中法の制定がないから斯る問題に遭つたので、我國民は此際當局が國防上の措置を誤らぬやう其行動に注意しなければならぬ』(東京)

外米の炊き方研究
▽水加減を合に多く

米を甘いと云ふ人は米なんか食はんでも済む人、米はパサパサして到底も命を繫ぐ日本米代りなどにならぬと呵す人は要るの外米を食はねば其の日の糊口に困るほどの窮乏者ですそこで全部外米は什麼して炊いたら佳いかなるほど外

▽米ばかり でも良くないから、之れにほどよく白米を混ぜるに限ります。まづ外米を水洗して三四時間がほど水に浸して置いて、それから白米を水洗して之まで一時間ほど置き、やがて此の二種の米を混ぜて能く洗つて水加減を割合に多くして釜の外部に米糊の出ないやうに

▽蓋を固く チャンとして置きますと割合に粘り氣のある飯が出來ます尤も飯櫃に御飯を移した折りにしやもじで練るやうにしてなづますと粘り氣は餘計に出るのです夫でも味が惡いと云はれるならば油揚豆腐を入れて炊くか小豆を一緒にして炊きますと五目ずしのやうなものも出來ますし牛か豚の小間切か何かで脂を取つての御飯をいためて食ますと中々大した味の御飯がいただけます(米試食者談)

○各國兵の共進會
浦鹽の此頃

物價は鰻登りに高い 浦鹽より歸京せる某實業家の土產話しに曰く

○○○○○○の乘將威風堂々百船を蔽つて○○日未明浦鹽港に入港するや先發の○○少將は艀舟を飛ばして船を訪問し且つ陸上の準備十分整はざれば一日を船內に送り翌日上陸ありたしと望みたれども形式に泥まず只上陸して

▲緊要の使命を果すにあるのみと少將の言を斥けて午後一時より上陸を開始するに至れるものにて我陸戰隊及び各國陸戰隊の出迎へ振は更に角として我領事…

盛に興行され衆落の底にある露國を知らぬ顏にあり目下同港の氣溫は七十度にして冬季における寒冷を思ひやるに足るものあるも我剛勇なる軍隊に對しては物の苦にもあらざるべし

△物價の昂騰 は非常なるものにて長靴一足我四十圓、雞卵一斤四十錢、酒は缺乏して無しとあらねども公園地等にて賣る瓶詰飲料水が我酒の値にも倍したる如き砂糖水を乾かしたる如きにせるもの飛出る如き値は人に一驚を喫せしめたり

◇この秋の流行界
帽子はシヤツは…殊に鼠が氣になる……
色合が流行

◇飾窓にも 今は早秋か朝夕に清爽の秋風がそよぎそめた、街のたゝずまひも和いだ日の光と同じやうに聊か秋の粧付を見せて來た、先進に續くら冬にかけての日用品雜貨等が快よい顏を見せてゐる、曰くセルの反物、曰く綿毛のシヤツ、曰く間帽子、曰く薄地お召の綿物と何れも見るからに肌なつかしい心地がする、扨て此等の値段はどうであらうか、何れもこれも不廉であるのには驚かざるを得ないのであるが試みに或商店に就て其の云ふ所を聞く『帽子は目下の處

◇間帽だけ ですが形の上に於ては山を低くし鍔を廣くしたのが流行の中心をなし値段は昨秋よりも平均二三割は高い普通に一寸した物でも五圓以下では氣に入つた物が手に入れられません從つて帽子を買ふならば是非共五圓札一枚を投げ出す事を忘れてはいけないと申上度いそれから薄毛の

◇シヤツは 先づ三割は高くなつてゐますが此先まだ〱高くなる見込ですから今の中に買込んで置くのも一策でせうと思ひます、セル類は此春よりも總體に一割五分位は値段をのぼせてゐますが需要者はひどく昨年のやうに澤山はありません、薄地のお召は依然として喜ばれてゐる丈に値段の二割方の昂騰には誰しも

◇一向に恐れをなして るないやうですその柄行は帽子類のそれと殆ど一樣に一般的平民的な色彩例へば紫に鼠をかけたやうな地に縞を通したのが秋の靜寂の氣に投する具合にチヤンと手に入されてあります』と云ひて其の業者

○野原に藥草が
澤山生て居る

過般來朝鮮の植物採集中なりし東京高等師範學校教授理學博士山內繁雄氏は語つて曰く朝鮮で採集した植物は一千餘種で寒地に生育するものと暖地に育つものとの兩種が同じ處で採集されたのは鳥渡不思議なやうにも考へられるがこれは朝鮮の氣候が一般に

▽大陸的 であつて、夏季でも朝夕は非常に涼しく寒冷を感ずる事もあるのに日中は又熱帶のやうに暑さを感ずるので氣候がかく兩極端だから植物も熱帶地のものが同時に手に入るのも自然なのである植物の種類から云ふと日本內地と大差はない、元來朝鮮の木皮や草根には藥用となるものが多くあるので歐洲戰爭が始まつて以來は朝鮮の

▽野草にも 藥學的の研究に努めてゐる、朝鮮人は毒草でない植物の名を呼ぶ、これは朝鮮に毒草が少くて日本には毒草が比較的多いからであらう開城附近の人參は日本內地でも福島縣の會津地方を始めとして、各地に移植して居るが藥用としては

▽効力は 到底開城附近のに較べものにはならぬ、同じ開城の人參でも深山に野生したのを見出して掘り當ると強壯劑としての効力は一層著るしいやうだ洋參は日本の原野にも澤山ある、朝鮮のはよく生育してゐて、それが開城附近の人參以上に強壯劑となるといふので、これから研究しやうと思つて居る

讀者文藝（一等には五十錢の…を呈す）

▲謎『米相場』とかけて 主の浮氣と解く心は本當に困る(一等) 木浦 松の島人
▲夢で逢ひと解く 心は上り上りて騷ぐ 利原 光生
▲疳癪持の眼と解く 心は…が釣り上げる 西鮮 寄歸生
▲下手な飛行家と解く 心は上り切つて下降るに骨が折れる 京城 吾浴

廉賣所雜事

▲京城府外米廉賣所は開設十日目…方面の…サツポロビール會社京城出張所に於いて…一日より一週間本町館の陳列窓に陳列し一般觀者の參考に供すべしと云ふ ▲士…で入場せんとして拒絕されたもの今日迄で二十二名あり ▲土地調査局の判任官三級の某妻は一日に三回も廉米を買ひに來しこと判明し三回目に注意されたり ▲竹添町三丁目勞働者鄭某は外米を購買すべく長女に金一圓八十錢を所持さしてやりしに十五六の鮮童に取られ泣き叫び居たるを今村伊三郎氏が…米一斗一升を…

京日案內

▲申込中後途掲載中止の節は料金不返却 ▲六回以上の御申込は特に割引 ▲御照會は返信附にあらざれば回答せず

◎龍山電話入用 龍山元町二丁目本願寺下 森青物店
◎金融 月收の御方へ極秘迅速融通 京城大和町三ノ三 …
◎寫眞技術者至急入用 書面にて申込をなす 仁川本町 井上寫眞館
◎外務員採用 履歷書持參面談 京城永樂町二丁目 八千代生命京城支社
◎借家交換 南大門三丁目米商店…
◎女子原簿係採用す …
◎職工數名募集 …
◎はねつき 一切の御依賴に應ず 明治町 柔術道場
◎一代觀相 每日午前中 …
◎金地金、高價買入 京城府本町一丁目 村木時計店
◎內地女子募集 … 總督府印刷所

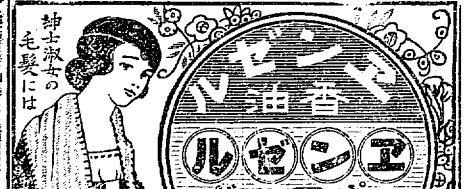
輸出入業並に代理業
（本社）釜山府本町四丁目廿五番地
（支店）大連市監部通二丁目
（出張員）京城本町二丁目、奉天昭德大街
田中善株式會社
田中善株式會社代理店
（本店）京城府本町二丁目卅四番地
（支店）奉天城內鍾樓南
同和棉行
（營業要目）絹綿毛麻各種織維工業品共原料品及雜貨並に特種產物の輸移出入、一般代理業

謹告
當夏期中肥前温泉公園に出張致居候處昨日歸館從前の通撮影に從事可仕候間倍舊の御愛顧希上候 敬具
京城寫眞館々主
野々村謙三
南大門通三（電話一〇四〇番）

勸業債券利殖信託（引受）
例に依り堅實なる利殖法に依り每月多額の利益を割當てつゝあり
我社運は日に月に隆盛の城に進み年來の信託者諸君と共欣幸を共にしつゝあり
當籤の萬一僥倖を夢み唯徒に債券を死藏するが如き致富策の最平凡事より醒め須く我社を利用し資金の增殖を計られよ
斯業者は獨我社をおきて他あるなし我社は斯業の元祖たり
合資會社 勸業債券信託社
大阪市北區堂島濱通り壹丁目
電話北堂五九〇番
電略（カギ）又は（カ）
▲端書申込次第詳報す

京城旭町二丁目六番地
宮內地金商
買入 金分析

◎双眼鏡◎
◎十五形 六枚玉 十二圓
◎十三形 六枚玉 十一圓
送料鮮內十二錢 外三十錢
台付は至急御下命願上候
京城太平通電話…一八番
京城日報社代理部



花柳病外科專門
梅毒・淋病・泌尿生殖器病
痔丸病・肛門病・皮膚病・婦人病・神經衰弱・ヒステリー
京城南大門通殖產銀行裏
司生堂醫院
電話三六五番

純白美乳
夏姿によく似合ふ
お若い御婦人に高評嘖々！
若夫人、令孃達の美しさを遺憾なく發揮し而も他く迄高尙な化粧薬は日本に初めて出來た純白美乳に限るこ近來到るところで高評嘖々、中にも湯上りの一滴は最も効果が多いといふので夏の暑さを流し合ふと同時に純白美乳の噂で持切りなのも其の筈、家庭用美乳の淡白素を基とした此の純白美乳の一滴を試みた方のみが浴後の快感を味はひ得るのですから……
定價 金拾錢
本舖 矢野芳香園

▲にせ物あり御注意▼
りん病 請合
はい毒 請合
京城大門外停車場前 ドラッグ商會本部
黃金町三丁目 電車通り ドラッグ商會支店

新荷著
懷中時計
アンクル側
懷中時計（▲印はラヂューム入）
インクレツシー商會
本店京城本町二丁目 電…九七二

パイン（學生號）萬年筆（耐久力五年以上）
金貳圓八拾錢
送料 內地…
五年以上の生命を前提とするパイン學生號萬年筆は如何なる試驗を以てするも前の萬年筆たる事を立證する事が出來る
發賣元 京城日報代理部
京城太平通電話構內十八番
振替京城二〇〇番

妻の心（十三）

十一の五　小林蹴月作　武内桂舟畫

『大層事が難しくなつたのね。阿兄さんが爲ろと云ふなら、誓言でも何でも爲てよ。好いた男とさへまだ眞劍の誓言なんて爲た事のない妾だけどもね。』

『乾が爲るのか。ぢや云つて聞かせてやらうか。』と、欣一は、バットの吸さしをぐつと煙草盆の灰に差込み、眼にも口にも殊から緊張の力を籠めつゝ、

『ね、駒さん、お前も愈々町川さんのお目鏡に叶つて、彼の人の屋敷へ引取られて行くと云ふほどの段取になつて居るからには、大抵は町川さんの家庭内の事情も知つて居てのこつたらうが、現今の奥様の總子さんッて人には第一子が

若瀧は、阿兄の話が餘りに門口が長過ぎるので、少し自烈込の調子で、睨むやうに問したのである。と、欣一は、猶更勿體さうに落着き澄まして、

『は、は、は、急いては事を仕損ずるからね。何でも關はず、お芳が身二つになりせね爲たらば、子ぐるみ町川の屋敷へ乘込んで了ふのよ。腑も膽もありや爲ねはだらうぢやねえか。そして、一足飛に町川令夫人に成濟まさうと云ふ寸法だが、甘盛もんでね。』

『だつて、阿兄さん、假令御病身にしても、家付の總子さんと云ふ奥様もありや、喜久子さまと云ふ御間一徹の御隱居さまもあるんだ

無ねんだらう。』

『然うだわ。一人あつたのが沒なつたので、町川さんの遊蕩が尚更烈しくなつて來たんだッて話よ。』

『其處へ、思ひがけなくも、お芳の腹へ子が出來たと云ふ一件だから、猶更の筋が面白可笑くなつて來たと云ふもんぢやねえかの。』

『分らないわね、妾には一寸も。その子が果して町川さんの子ならば、結構だけども、阿兄さんの子だつたら、大變ぢやないの。』

『お前にも似合はねえな。何方の子だつて、そんな事は關ひや爲ねえさ。今時の大紳士の家庭には、誰の胤だか分らねえ小供が幾等もあるんだ。役者の胤もありや、運轉手の胤もありさ。甚だしいのになると、出入の植木屋の胤なんて奴もありうちなんだからね。』

『好いわよ、阿兄さん、そんな世間の家庭のあら探しよりか、阿兄さんが妾に誓言させた理由から先へ聞かして頂戴つて云ふのに。』

から、御主人一人が何ぼお芳さんとやらを本妻に直さうとお思ひになつた所で、そりや到底出來ない相談と云ふもんだわ。』

『其處だからこそ、お前に味方を賴むと云つてるんぢやねえか。』

『味方つて、妾の力では若夫に御隱居と奥さまとを、罪へ押し込めて了ふと云ふ譯にはゆきや爲ないわ。ねえ阿母さん、然うでせう。』

『そりや然うですとも。殊に妾の身分ぢや、口を利くにだつて、餘程氣を付ける位にしなくちやね。』と、母のお瀧は、娘に合槌。

『なアに、出來ねえ事があるもんかな。刄物や劇藥で他を殺したり括縊つて罪へ押し込める事は出來ねえまでも、老耄た婆と半病人の奥さま位を取片付けて了ふ手段は山のやうにあるんだ。』

『阿兄さん、取片付て了ふとは……？』

若瀧には、その取片付けて了ふと云ふ一言が、いたく恐ろしく感じられたので、口早に問ひ直した。

『は、は、は、取片付けると云ふ言葉の意味かね？其處が即ち、お芳と僕との内約に屬する所よ。半病人の奥さまよりも先づ、彼の伊ヶ剛西で恋の深い臨古殿の寢室へ火の玉か何かに化て轉け込んで見せるんだね。』

『冗談ぢやないわよ。何我の家の喜劇ぢやあるまいしさ。』

話の最中へ、突然赤い紙の電話郵便が舞ひ込んで來たので、三人は、火の玉以上に吃驚しながら眼と眼を見合つた。

醬油の良否

◆簡單な鑑別法◆

米に次いで日本人の日常生活に大切なものは醬油であります。魚や肉を喰べるにも澤むし漬の副食物や香の物、毎日同じ物を喰べて居る譯でもありませんが、醬油ばかりは、如何なる家庭でも、朝も晝も晩も、殆ど用のない處はありません、實際大豆と小麥と鹽とを熟成さして

◆◆**風味** よく香りよく釀造したものですから、今日流行の營養學から見ても、十分の營養分を含んだ申し分のない調味料であります、然るに暢気な奥様方は、此の大切な醬油の良否を鑑別る術を少しも御存知なく、單に商標を見て龜甲萬とか、山サとか書いてあれば最上の品と思つて居ます、勿論此等の醬油は上等に相違ありませんが、奸商が多い今日

◆◆**商標** ばかりで中味まで確實であるか否かを受合ふ事は出來ません、乃で各自で醬油の良否を鑑別る方法を知つて置く事が必要であります、之も嚴ましく云ふと際限がありませんが、此に極簡單で有効な方法を申上げましやう、夫は試驗をしようと思ふ醬油を、二つでも三つでも同じ分量をコップに入れ、それへ十倍位の熱湯を注すのです

◆◆**生地** では分りませんが斯樣に薄く延して見ますと其色もよく見え、其香りは尤も善く良否が分ります、最後に之を味はつて見ますと、良い品はすまし汁の樣なよい味がしますが、悪い品と來たら水つぽい上に化鹽からくて到底も飲まれません、斯うして試驗すれば、幾個の醬油でも僕ち良否が分つて、決して間違ひつこありません、試みにお宅の醬油をやつて御覧遊ばせ

◆一家の主婦が生活難に處するの道

物價騰貴から生活難は年々に増して來て居りますが此生活難に對して一家の經營に當るものは十分の覺悟の必要があります、其中でも先づ主婦としての

◆◆**手近な方法** は費用の節約だと思ひます、而して生活上衣食住の順序は食が先で次が衣か住になる事は誰も知つて居る處ですが實際から云つて殊に婦人には兎角に衣を先にするのが一般のやうです、今日米價騰貴に就く婦人は多くあつても衣服の騰貴をそれほどに恐れるものは少いやうです粗食はしても粗服を着けぬと云ふやうに

◆◆**食物が高く** なれば高い物は食ずに安いものを買ひますが扨て衣服になると三四割の騰貴も別に恐れることなく何でもそれを買はねばならぬものと心得て居るのが今日の普通の考へです、斯う云ふ工合に生活上食物の必要は感じて居ても生活難となると食物の節約は誰も容易に出來ても粗衣の實行は全く出來ないやうですがこれは大變間違つた考へで

◆◆**食が足りて** 後衣に及ぶのが順序なのです衣服は綺麗清潔であれば事足りるので粗衣が生命に及ぶことはありませんが、粗食は直に營養不足となり生活力を失ふとになるのです、勿論食物は衣服と違ひ高價なもの必ずしも美味で營養のあるとは限りませんから食物の選擇は難しいものです、又食物は營養が目的ですが衣服には

◆◆**衛生と禮儀** の必要がありますから單に粗衣を主張することが出來ませんが食にしても衣にしても身分相應を常に頭腦に置いて生活難に處して行けば是が何よりです然れども普通の場合どうしても身分不相應になり易いのは衣服です、而して之には美衣に止まらず流行があるので衣服費は益々高められるだからです、それから又

◆◆**一家の中で** 衣服費の多いのは主人より主婦の方でせう又婦人は衣服等の贅澤費の爲に男子を苦します事も多いです、けれども既に生活難を自覺する以上はこれ等を是非改めねばならぬことです先づ順序として主人は社交上の地位を保つ上にこれ等の費用の必要を婦人は理解しなければなりません、そして男子をしてより以上に生活力を進めるやうにするのが生活難に處して行く婦人の勤めであり家政のとり方でありませう

初秋の裾野の朝のうす明りその中に鳴く色々の虫

○　新羅　庭手人草

淡き色のコスモス咲きて秋風なあはれいとふと言ひし君はも

しつとりと袖にて胸は抱けどもいさうら淋しきは秋の夕風

○　みよし野

あはれ宵かへなき日のみうちつゞくそれないたける心思へや

紫の微光のかげにあたゝかに甦へし青の盜聞くがいゆ

言葉抽き立つ幹柄の屋根の草木までたは初秋の風

詣き果の重みにゆれて大々の葉の木たけむ初秋の雨

白蓮　東京　鳥居きみ子

風もなく露こぼるゝ白蓮のひらくまたきの色のたふとさ

森の奥くしき傳への此池にも神の如く睡蓮の花浮く

其夕べ蓮花の蕾のうれしきは汗の一日か今日も過して

母そばにいとしわか子のいれしまなコンタツくもず心涼しも

男さなば胸みくらしいつしかも夕暮そよぐ葉の底のもと

撒水に涼しきそふる雫すだれさもしび淡く鈴の音する

兄と妹と蒙求を讀づるそれのここ遊ぶ門邊に石器拾ふも

兄の子がやさしき聲のマルセイユうたのこゝろに瞑ぞひそめる

御手にひかれたどりゆくなる天の門わがいつくしみのサンタマリアに

夏ふかみ夜毎にさゆる虫の音に自然の庭の草のはびこり

奥布なゐ御氣の衷の森の虫宵の間よりそぞろなく

遠あかしに聖香にかすむベチザクション遅き歌の堂にみちみつ

日報歌壇

初秋の夜　春歌路

かぐはしく林檎の匂ふ初秋の夜な唯一人優手し行く

漆黑の泪ぐまれし其の眸に白く大なる月のうつれる

水色に屡搖かし秋の風吹く夜な君と別れてしかな

やゝ寒く晴れたる空のうす青き色より秋は來らんとする

讀者の領分

□鄙江合：笑江…

枝蛙鳴る日暮な村晴るゝうたゝ寝に夢路のかしましき　新超

黄昏に行乞ふ人や雨蛙　登久郎

枝蛙旅の歸り路家の灯　橋野

雨蛙飛脚立つ日の香りけり　長榮

雨宿りすれば大樹に鳴く蛙　同　己

一箭に晴れの吹かるゝ雲の峰　橘堂

▲十九日夕刊第三面『恥と思ふは大人と迷信』の題下に救濟會評議員の一人の話として『時侭より十錢出して一般人士に分つものならば安い如何なる人と雖も盛んに歡迎を受けるが好い是は恥の樣に思ふは大間違』さあちから吾々も眼く買ださに出しに行きしにハテ何られました是はどういふ理窟か子販賣所なんてものも世間騷がしのお祭騷ぎか子御手鄙らに新紙上に委しく御指導を願ひたし（吉野町の住人不要救濟者）▲近頃電話の間違が多く加入者側ではぶつ／＼云ふ者が多いが原因する所は勞働過激の結果交換手達の異動多く新參交換手の不馴の爲めであらうと察するが神ならぬ人の愛さ咎に取るに足らぬ若い娘達の罪だものと云へばそれ迄だが然し之も京城の管轄の通信機關だからもうは云へまい、も少し交換手達は沈重の態度でやつてほしい（電話番生）▲京城に東洋協會專門學校の分校がどこかにあると聞いて居ますが修業年限及び入學資格等は御承知の御方は敎へて下さい（江原道の山奧）▲京城大和町京城中學校へ直接御照會なさい（係）

○聯絡輸送開始

[illegible]滿鐵と吉長鐵道との聯絡貨物輸送[illegible]間規則により二十日より其取扱[illegible]扱、吉長線にありては下水盆、樺[illegible]皮敷、九站、吉林の諸驛に於いて之を取扱ひ運賃は滿洲線内運賃及び[illegible]のは爰掛とし特に承認したる場合[illegible]は兩線を通じて現掛とし各驛に於いて後掛ひの特約をなすものに對[illegible]一、牛馬其の他の動物一、死體一[illegible]武器彈藥、爆發物及び其の製造材料、金塊、阿片、鮮魚、鮮肉、[illegible]

○戰後の紡績株

▲然らば戰後原棉價の高低は如何にあるべきかと云ふに作付の増減天候の如何による騰落多く輕々に豫[illegible]保合を持續すべしと見るべき理由なきにあらざるも原棉高は果して今後長く製品高の原因たり得べき[illegible]は一面原棉の高低に他面海外輸出の増減によつて支配さるべく既に原棉方面よりの不勞利得の大體に[illegible]正五年中六十七萬四千圓に過ぎざる綿木綿は二百五十五萬八千圓に同白木綿は二百三萬圓より五百卅[illegible]

消化と毒けし

金言

何人も己の醫者たらざるべからず　西諺

健康の源泉は胃腸の強健にあり

胃腸の強健は仁丹の常用にあり

仁丹特長

△三輪、井上兩博士の御方劑にして嚴選せる高貴藥のみ配伍しあれば藥効的確なり

△消化力、殺菌力を兼備せる故に毎日欠さず服用せば胃腸を強健にし悪疫を豫防す

仁丹買方

▲名所カード金言容器付（二貼半入）二十錢

▲本形容器付（七貼入）五十錢

▲四季容器付（七貼入）五十錢

▲德用包（九貼入）五十錢

▲桐箱入（十七貼入）一圓